北陸地方整備局
記者発表

令和6年4月1日(月)
取り扱い:配布を以て解禁

令和６年能登半島地震に対する北陸地方整備局の対応について（第 55 報）

令和６年能登半島地震発生から３ヶ月の北陸地方整備局の取り組みについてまとめました

１　主なインフラ復旧・災害支援活動の概要　・・・・・・　1

２　被災自治体等の支援について　・・・・・・・・・・・・・　3

・TEC-FORCE・リエゾンの派遣、災害対策機械の派遣などによる支援
・物資・資材の支援
・液状化被害への対応
・他機関の活動を下支え
　安否不明者の捜索活動への支援／捜索活動の二次災害防止のための助言／土砂災害拡大の懸念への助言／
　のと鉄道の早期復旧に向けた事業間連携／災害支援物資の集積場の安全性を調査／
　応急給水拠点施設の保全／水道の早期復旧ののため送水管を運搬

【トピックス】
・TEC-FORCE 隊員に感謝の手紙をいただきました
・TEC-FORCE 隊員と宿泊先ホテルとの交流

３　道路の緊急復旧について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　36

・道路の緊急復旧の状況
・孤立集落の早期解消・ライフラインの復旧
・能越自動車道・のと里山海道
・国道２４９号権限代行区間
・令和６年能登半島地震 道路復旧技術検討委員会

４　河川・砂防・海岸の緊急復旧について　・・・・・・・・・　50

・奥能登の河道閉塞への対応
・３ヶ月の取り組み状況
　河原田川(輪島市熊野町地先)／町野川水系(輪島市町野町)／宝立正院海岸(珠洲市正院町から宝立町地先／
　角間川・広地川の河道閉塞
・能登半島地震における土砂災害対策検討委員会

５　港湾の緊急復旧について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　59

・港湾の被害概要
・被災した港湾・空港等への対応
・令和６年能登半島地震被災港湾施設復旧技術検討会

６　本復旧に向けての体制について　・・・・・・・・・・・・・　67

・災害復旧工事の権限代行及び直轄事業の実施・担当事務所等
・北陸地方整備局本局「市町復旧・復興サポートセンター」を設置

７　建設業者、協定団体等の活動　・・・・・・・・・・・・・・・　71

【トピックス】
・ブランド牛の命を繋ぐ道路補修
・スーパーが営業再開!?よし道路補修がんばろう！

令和６年能登半島地震に対する対応状況は、北陸地方整備局ホームページやＸ（旧 Twitter）でも発信しています

北陸地方整備局
ホームページ
URL：https://www.hrr.mlit.go.jp/

X(旧 Twitter)

問い合わせ先	北陸地方整備局　ＴＥＬ（代表）０２５－２８０－８８８０ 所　属　　氏　名 企画部　企画課長　　西村　雄喬

北陸地方整備局等の主な災害支援活動

国土交通省
北陸地方整備局

延べ 24,825名（令和 6年 3月29日現在）　日最大555名（1月14日）

令和6年能登半島地震

1月	2月	3月

○リエゾン

1/2～ 3市4町
1/11～ 3市3町
2/8～ 3市2町
2/17～29 2市2町（輪島・珠洲・穴水・能登）
2/29～3/29 2市（輪島・珠洲）

○TEC-FORCE（被災状況調査）

日最大355名(1/9、1/14)
他地整等からの応援による被災状況調査 完了2/27

- 道路 → ～2/27
- 河川 → ～3/5
- 砂防 → ～2/6
- 海岸 → ～1/31
- 港湾 → ～3/14

○TEC-FORCE（給水支援）

他地整等からの応援による給水支援 完了3/29

1/3 → 日最大21台体制（1/18ピーク） → 11台（3/12～） →2台（3/29）

○TEC-FORCE（電源支援）

他地整等からの応援による電源支援 完了1/30

1/6 → 1/30　日最大38台体制（1/16ピーク）

○TEC-FORCE（待機支援）

他地整等からの応援による待機支援 完了3/28

1/27 → 10台体制（1/27～3/2） 7台体制（3/2～） ～3/28

○物資・資機材支援

能登半島地震での主なインフラ復旧・災害支援活動

国土交通省
北陸地方整備局

令和6年能登半島地震

1月	2月	3月

○道路復旧

★1/2ヘリ調査開始、道路緊急復旧着手、輪島・珠洲への啓開了（普通車）

★1/4輪島・珠洲への啓開了（大型車）

★1/18能越自動車道・のと里山海道の一部区間通行止解除（片側通行43%）
※率は通行止37.5km区間からの復旧割合

★1/19実質的に孤立集落解消

★1/23国権限代行による復旧決定（能越自動車道石川県管理区間、国道249号沿岸部）

★1/27国道8号茶屋ヶ原土砂崩落災害箇所の通行止解除

★2/2能越自動車道・のと里山海道の一部区間通行止解除（片側通行60%）

★2/15能越自動車道・のと里山海道の一部区間通行止解除（片側通行92%）

★2/20国道249号の緊急復旧完了、復旧技術検討委員会の設置

★2/27能越自動車道・のと里山海道の一部区間通行止解除（対面通行13%）

★3/15能越自動車道・のと里山海道の一部区間通行止解除（片側通行100%）

○河川復旧（河道閉塞対応）等

★1/2ヘリ調査開始

★1/5-6国総研・土研ヘリ調査・現地調査実施

★1/11河原田川河道埋塞箇所工事着手

★1/12Ku-sat設置（河原田川市ノ瀬地区）

★1/23国で確認した河道閉塞箇所（6河川14箇所）公表
（うち3河川3箇所（河原田川熊野地区、鈴屋川町野地区、山田川宮地地区）は近傍に集落）

★1/23国権限代行等による復旧決定（河原田川）

★1/28鈴屋川町野町鈴屋地区の応急対策工事完了［県］

★1/29河原田川熊野町地区の河道閉塞箇所家屋浸水解消

★2/1国権限代行等による復旧決定（宝立正院海岸、R249沿い地すべり）

★2/6国直轄施行による復旧決定（町野川水系河道閉塞）

★2/16山田川宮地地区の応急対策工事完了［県］

★2/19土砂災害対策検討委員会の設置

★2/22河原田川市ノ瀬地区土砂ダム監視カメラ情報等公開

○港湾復旧

★1/2ヘリ調査開始、6港湾の一部管理の国権限代行開始

★1/4輪島港緊急復旧・復旧岸壁での災害支援活動開始

★1/5利用可能な9岸壁の特定、応急復旧検討開始

★1/9飯田港の岸壁の応急復旧完了

★2/1国権限代行による復旧決定（8港湾、2海岸、1空港）

★2/16輪島港漁港区の浚渫開始

★2/19復旧技術検討委員会の設置

★2/27飯田港航路啓開作業開始

★3/4小木港、宇出津港の岸壁の応急復旧完了（6港湾の岸壁の応急復旧完了）

○復旧体制

★2/16能登復興事務所・能登港湾空港復興推進室の設置

被災自治体等の支援

【リエゾン】

- 発災直後からリエゾンを石川県、富山県、新潟県、3市4町（七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、中能登町、穴水町、能登町）に派遣。富山県、新潟県、市町のリエゾンは3／29に終了し、現在は石川県に派遣を継続。

【TEC-FORCE】

- 被災状況調査は1／2から全国のTEC-FORCEが集結し、活動を開始。2／27、全国の地方整備局等による広域TEC-FORCEによる調査は終了し、その後の被災自治体からの要請に基づく北陸地方整備局による調査は3／14には全て終了。

- 電源支援活動は1／6から活動（最大38台体制（1／16））し、応急対応として、国土交通省所有の照明車を電源車として先行派遣し、避難所等の施設へ給電等を実施し、1／30に終了。

- 給水支援活動は1／3から活動（最大21台体制（1／18））し、引き続き、飲料用水、トイレ用水、洗濯用水のための給水を行うとともに、上水道施設の漏水点検のための給水を実施。他地整等による支援は3／29に終了し、以降は北陸地整による支援を継続。

- 上下水道復旧を加速化させるため作業従事者の宿泊先として待機支援車の提供を実施。他地整による待機支援は3／28に終了。

【物資・資機材支援】

- インフラの復旧を円滑に実施するため、石川県建設業協会等に協力してもらいながら、砕石の調達・集積拠点までの輸送を実施（～3／11）。

全国から人、資機材を結集した災害対応

国土交通省

3月26日時点

TEC-FORCE

のべ　24，825名

全地方整備局等

給水機能付散水車

22台

（うち北陸以外20台）
東北、関東、中部、近畿、
中国、四国、九州

防災ヘリ

4機

（うち北陸以外3機）
東北、関東、近畿

照明車

83台
夜間照明用・電源支援用

（うち北陸以外50台）
関東、中部、近畿、中国

Car-SAT

4台

（うち北陸以外3台）
関東、中部、近畿

待機支援車

32台
給水支援・緊急工事従事者等の待機支援

（うち北陸以外28台）
東北、関東、中部、中国、四国、九州

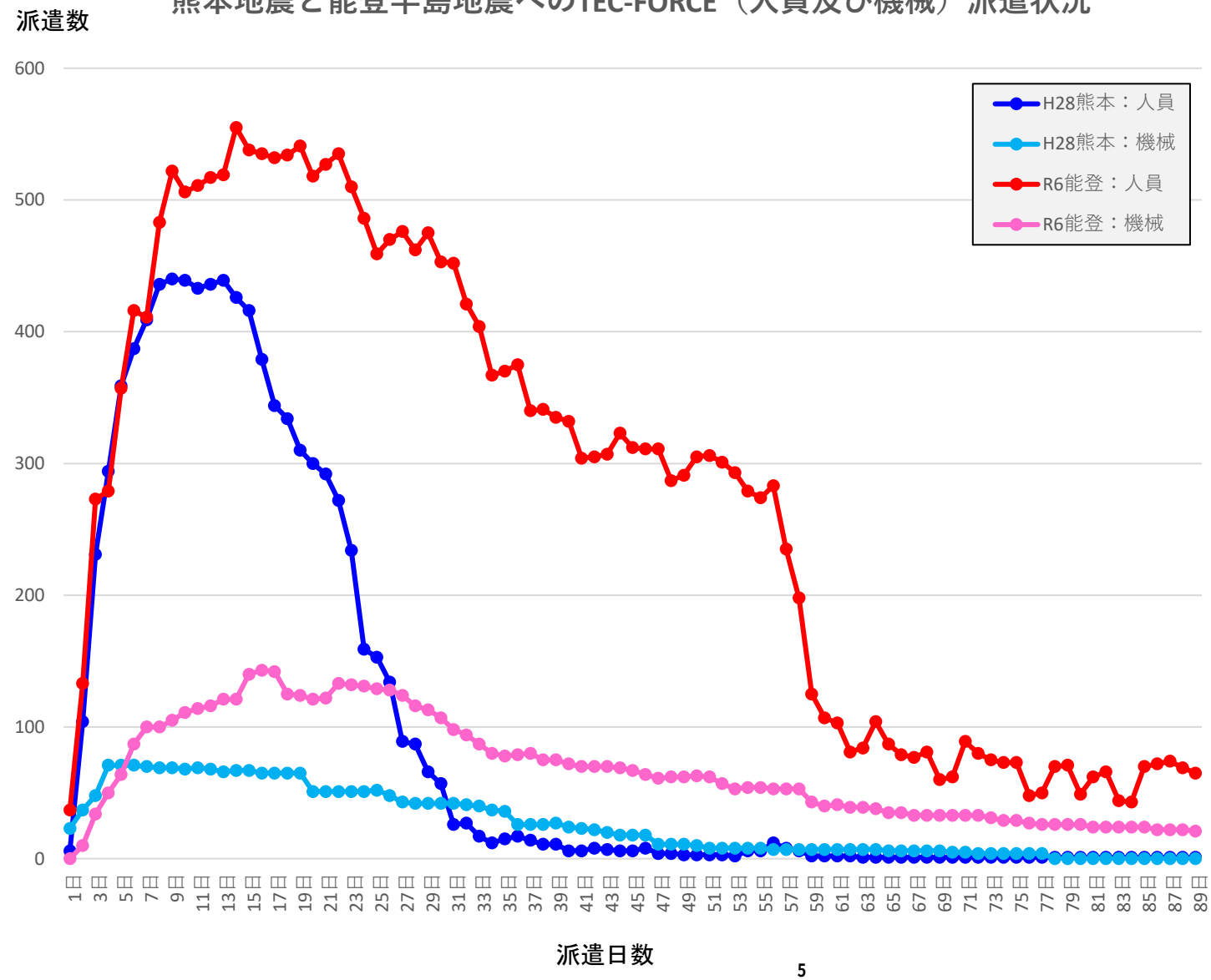
TEC－FORCEの派遣実績（能登半島地震）

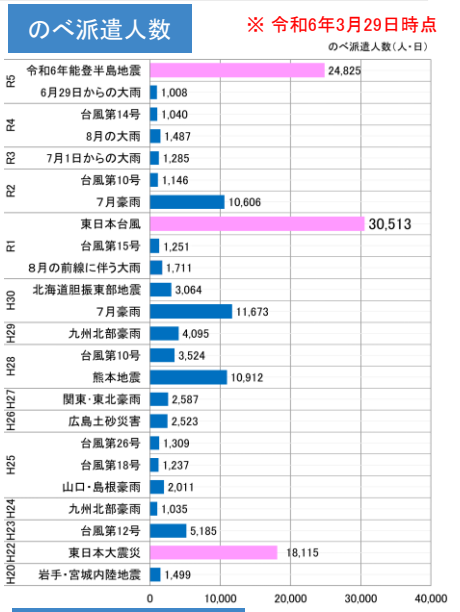
※R6/1/1～3/29時点

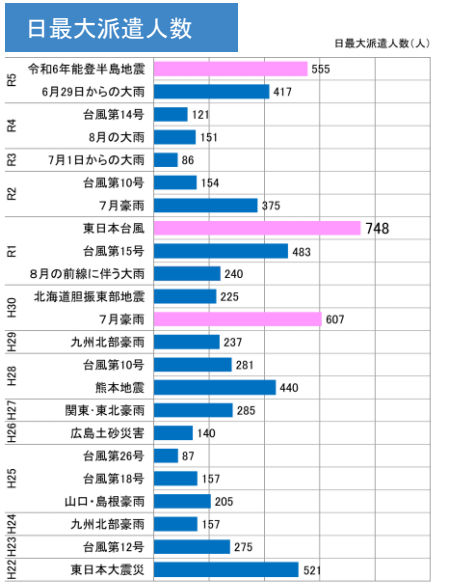
国土交通省

○令和6年能登半島地震は、のべ派遣人数が歴代2位、日最大派遣人数は歴代3位の派遣規模。

熊本地震と能登半島地震へのTEC-FORCE（人員及び機械）派遣状況

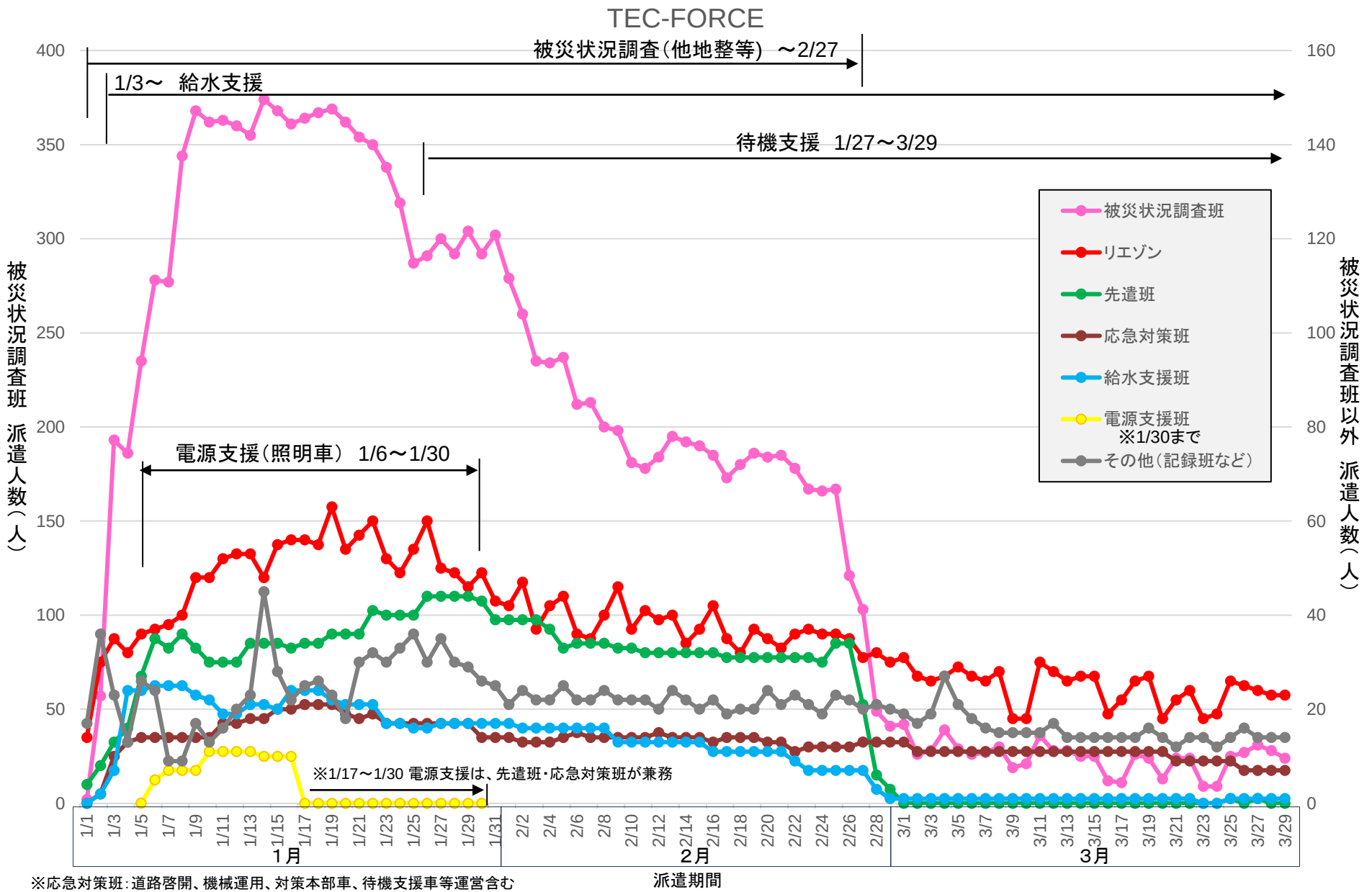






能登半島地震（TEC-FORCE）派遣実績 ※R6/1/1～3/29時点

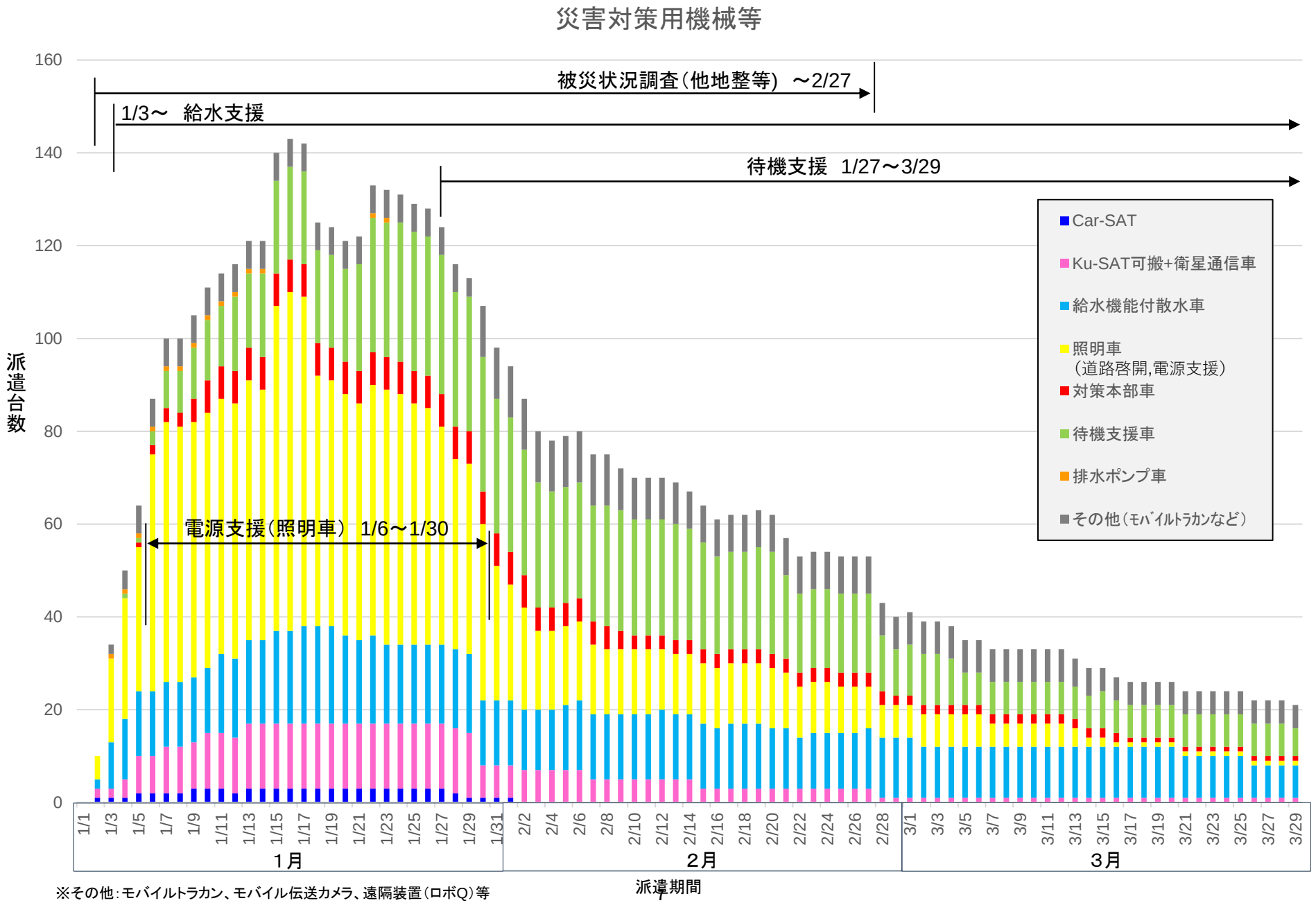
国土交通省



※応急対策班：道路啓開、機械運用、対策本部車、待機支援車等運営含む
※先遣班：先遣隊、総合指令班含む
※被災状況調査班：道路、河川、砂防、ダム、海岸、港湾、建築、及び高度技術指導班含む
※その他：JETT,運用支援班、災害記録班など

能登半島地震（災害対策車両等）派遣実績 ※R6/1/1～3/29時点

国土交通省



※その他：モバイルトラカン、モバイル伝送カメラ、遠隔装置（ロボQ）等

令和6年能登半島地震で活躍するリエゾン

国土交通省

リエゾンとは

- リエゾン（災害対策現地情報連絡員）は、被災地方公共団体の被害状況や支援ニーズを把握し、被災地整等災害対策本部に情報伝達を行うほか、被災地整等からの情報や TEC-FORCE 等の支援メニュー等に関する情報提供をする。
- 被災地で活動する様々な災害対応機関と連絡調整を行うとともに、必要に応じた臨機の対応を行う。
- 警察・消防・自衛隊等の人命救助にあたる各機関との情報共有、政府への対応、被災地方公共団体への高度な技術的助言等を行う。

令和6年能登半島地震でのリエゾンの活動

- 地震発生直後から、石川県庁や輪島市、珠洲市等の被災自治体にリエゾンを派遣し、自治体の被災情報や支援ニーズを把握し、支援調整を実施。
- 得られた情報を災害対策本部に速やかに報告し、迅速な自治体支援につないでいる。

災害対策本部
（TEC-FORCE総合司令部）

リエゾンの情報により、迅速な自治体支援につながっている。

TEC-FORCE（国土交通省緊急災害対策派遣隊）

リエゾン

市町村長へ支援ニーズの確認
（石川県珠洲市）

関係機関との情報共有
（石川県能登町）

被災状況等の確認
（石川県輪島市）

災害対策本部会議への参加
（石川県輪島市）

物資支援、被災状況調査等の自治体支援

避難所へ照明車からの電源支援
（石川県珠洲市）

給水機能付散水車による給水支援
（石川県能登町）

道路の被災状況調査
（石川県輪島市）

各自治体への物資支援
（金沢河川国道事務所）

令和6年能登半島地震で活躍するリエゾン

国土交通省

能登半島地震におけるリエゾンの具体的な活動事例

■リエゾン活動事例1（珠洲市）

リエゾンが珠洲市長から支援物資の要望を聞き取り、仮設トイレの設置を、災害協定に基づき、日本建設業連合会に依頼し珠洲市市役所等に設置した。

1/3　珠洲市から要請
1/4　設置開始

仮設トイレ（珠洲市役所）

■リエゾン活動事例2（輪島市）

リエゾンが輪島市から停電エリアの避難所の情報を入手し、輪島市に国土交通省が所有する照明車を電源車として使用できることを提案し、資源エネルギー庁が実施する電源支援の電源車が到着するまでの間の電力供給を行った。資源エネルギー庁の電源車が来ない避難所に対しても、要望に臨機に対応している。

1/6　輪島市と調整開始
1/7　電源支援開始

電源支援（輪島市浦上公民館）

■リエゾン活動事例3（能登町）

平時に国土交通省が支援できる内容を自治体にお知らせしていることもあり、能登町からリエゾンに給水支援の要請があり、国土交通省が所有する給水機能付き散水車を能登町に派遣し、飲料水として住民への支援を行った。

1/5　能登町から要請
1/6　給水支援開始

給水支援（能登町）

令和6年能登半島地震で活躍するリエゾン

国土交通省

能登半島地震におけるリエゾンの具体的な活動事例

■リエゾン活動事例4（穴水町）

リエゾンが穴水町から支援物資集配所の電源要望を聞き取り、発動発電機を災害協定に基づき、日本機械レンタル協会に依頼し支援物資集配所に設置した。

1/4　穴水町から要請
1/5　設置開始

発動発電機の設置（穴水町）

■リエゾン活動事例5（奥能登3市町）

各自治体より道路補修（段差、クラック、倒木等）のニーズがあることから、リエゾンを通じて調査・調整を行い、災害協定に基づき、富山・新潟県建設業協会に珠洲市・能登町・穴水町の道路補修について要請し補修を実施中。

1/8　要望確認・箇所調整
1/9　派遣準備
1/10　現地移動
1/11　現地着手

道路補修（珠洲市内）

■リエゾン活動事例6（穴水町）

穴水町が罹災証明手続きを開始するため、市役所庁舎敷きの段差、クラック補修の資材（砕石）搬入についてリエゾンに相談。災害協定に基づき、石川県建設業協会に資材搬入ついて要請し、穴水町に搬入した。

1/7　穴水町から要請
1/8　資材（砕石）搬入

資機材搬入による補修箇所（穴水町役場）

ＴＥＣ－ＦＯＲＣＥ活動状況

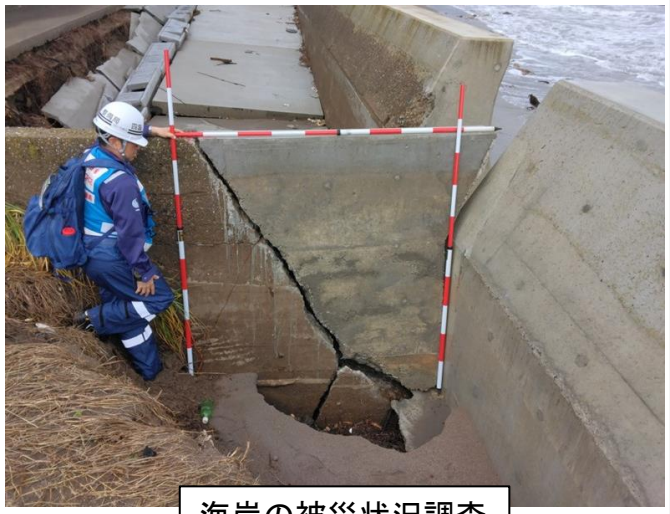
国土交通省

- 全国から国土交通省TEC－FORCEが集結し、被災状況調査や災害対策機械による応急対応等の技術支援を実施。
- 令和6年3月29日時点で、のべ約24，825名で活動を展開（総合指令・リエゾン等含む）。

道路の被災状況調査

土砂災害の被災状況調査

河川の被災状況調査



海岸の被災状況調査

港湾の被災状況調査

建築物の応急危険度判定

TEC-FORCE被災状況調査報告の事例

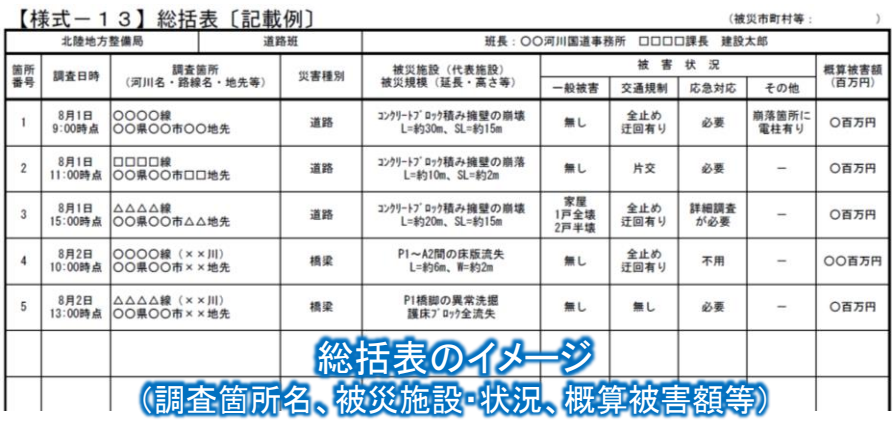
国土交通省
北陸地方整備局

➢ 被災状況調査（河川・砂防・海岸・道路・港湾）は、公共土木施設や土砂災害危険箇所等において被災カ所（範囲）及び迅速な被害の状況の把握、危険度の判定、被害（概算）額の算定を行い、二次被害の発生及び被害の拡大防止、迅速な復旧、復興を支援することを目的に実施。各調査結果は、各被災自治体へ報告し、災害報告等に活用いただいている。

TEC－FORCE
令和６年能登半島地震における
被災状況調査（河川）
【輪島市】
報告書
（1／3）

Technical
Emergency
Control－
FORCE
TEC－FORCE：緊急災害対策派遣隊

令和６年２月２０日
国土交通省　北陸地方整備局
国土交通省　関東地方整備局
国土交通省　近畿地方整備局
国土交通省　北海道開発局


【様式－１３】総括表〔記載例〕　（被災市町村等：　）

北陸地方整備局	道路班	班長：○○河川国道事務所　□□□□課長　建設太郎						
箇所番号	調査日時	調査箇所（河川名・路線名・地先等）	災害種別	被災施設（代表施設）被災規模（延長・高さ等）	被害状況 一般被害	交通規制	応急対応	その他	概算被害額（百万円）
1	8月1日 9:00時点	○○○○線 ○○県○○市○○地先	道路	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ積み擁壁の崩壊 L=約30m、SL=約15m	無し	全止め 迂回有り	必要	崩落箇所に電柱有り	○百万円
2	8月1日 11:00時点	□□□□線 ○○県○○市□□地先	道路	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ積み擁壁の崩落 L=約10m、SL=約2m	無し	片交	必要	－	○百万円
3	8月1日 15:00時点	△△△△線 ○○県○○市△△地先	道路	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ積み擁壁の崩壊 L=約20m、SL=約15m	家屋 1戸全壊 2戸半壊	全止め 迂回有り	詳細調査が必要	－	○百万円
4	8月2日 10:00時点	○○○○線（××川） ○○県○○市××地先	橋梁	P1～A2間の床版流失 L=約6m、W=約2m	無し	全止め 迂回有り	不用	－	○○百万円
5	8月2日 13:00時点	△△△△線（××川） ○○県○○市××地先	橋梁	P1橋脚の異常洗掘 護床ﾌﾞﾛｯｸ全流失	無し	無し	必要	－	○百万円

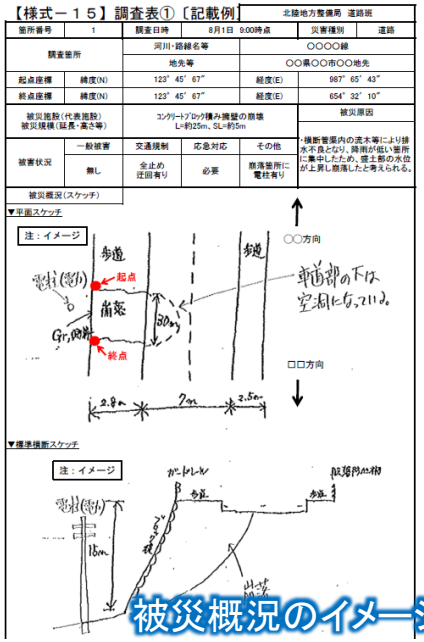
総括表のイメージ
（調査箇所名、被災施設・状況、概算被害額等）

【様式－１４】総括調査位置図〔記載例〕　（被災市町村等：　）

北陸地方整備局　道路班　班長：○○河川国道事務所　□□□□課長　建設太郎

※行動ルート、被災箇所を明記

総括調査位置図のイメージ


【様式－１５】調査表①〔記載例〕　北陸地方整備局　道路班

箇所番号	1	調査日時	8月1日 9:00時点	災害種別	道路
調査箇所		河川・路線名等		○○○○線	
		地先等		○○県○○市○○地先	
起点座標	緯度(N)	123° 45′ 67″	経度(E)	987° 65′ 43″	
終点座標	緯度(N)	123° 45′ 67″	経度(E)	654° 32′ 10″	
被災施設（代表施設）被災規模（延長・高さ等）		ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ積み擁壁の崩壊 L=約25m、SL=約5m		被災原因	
被害状況	一般被害	交通規制	応急対応	その他	・横断管渠内の流木等により排水不良となり、降雨が低い箇所に集中したため、盛土部の水位が上昇し崩落したと考えられる。
	無し	全止め 迂回有り	必要	崩落箇所に電柱有り	
被災概況（スケッチ）					

▼平面スケッチ

▼標準横断スケッチ

被災概況のイメージ

【様式－１６】調査表②〔記載例〕　北陸地方整備局　道路班

箇所番号	1	調査日時	8月1日 9:00時点	災害種別	道路崩壊

起点終点の位置を明記する（※必須）

<コメント>
・被災箇所の前後においても土砂崩落のため、構造物が宙に浮いた状態になっており、近づくことは危険である。

<コメント>
・周辺状況は、山間部のため、家屋等への被害の恐れはない。

被災状況写真のイメージ

調査結果説明（輪島市）

手交（輪島市）

災害支援基地（富山防災センター）

- 富山防災センターとは、北陸地方整備局管内の西部地区における防災活動の拠点で、災害が発生した際、迅速に復旧活動を行うための資機材の備蓄や、災害発生時の情報の収集及び発信の基地。
- R6能登半島地震の際には、全国の各地方整備局より派遣された各種災害対策車両等の進出拠点となり、施設内のTEC現地司令部用会議室等をTEC隊員の内業場所として活用。

関係機関と連携した散水車を活用した給水支援

国土交通省
北陸地方整備局

- 北陸地方整備局のほか東北,関東,中部,近畿,中国,四国,九州の計8地方整備局、日最大21台の給水車により給水支援を実施。
- 石川県庁に設置した「水道支援チーム」による日本水道協会、自衛隊、DMAT等と連携した派遣先調整や、被災地のニーズを受けた給水を実施。
- 水資源機構が珠洲市に設置した「可搬式浄水装置」2台により1月12日から飲料水供給拠点として供給中（3月31日までに約3,700t供給）。

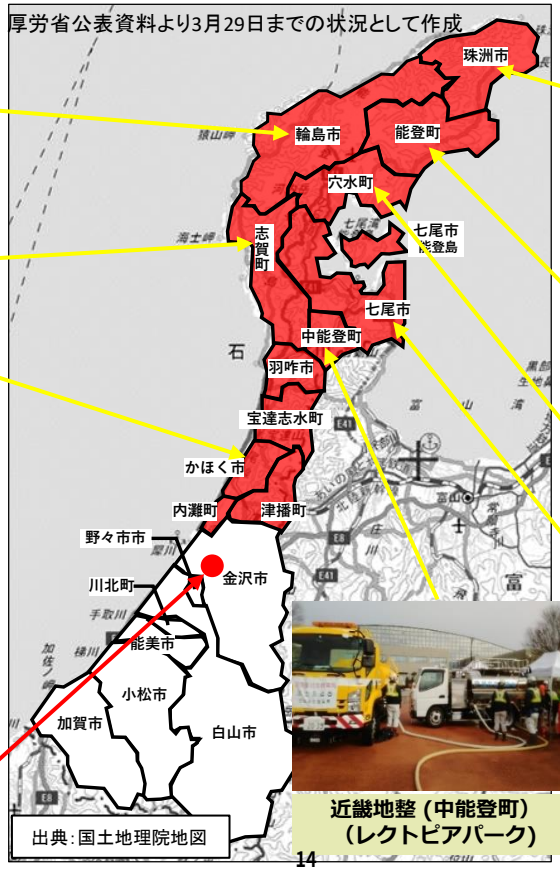
東北、四国地整等（輪島市）
（移動式ランドリーカー）

中部、北陸地整等（輪島市）
（トイレトレーラー）

四国・九州地整（志賀町）
（富来活性化センター）

中部地整（かほく市）
（かほく市役所）

厚労省公表資料より3月29日までの状況として作成



【凡例】
■：日本水道協会、自衛隊、国交省等の関係機関が連携して給水

被災市町浄水場復旧までは、日本水道協会石川県支部（金沢市企業局）より給水車への水道水補給を受けて被災市町へ給水支援実施

※石川県の他は、富山県氷見市においても給水支援を実施

近畿地整（中能登町）
（レクトピアパーク）

珠洲市、DMATの要請により、珠洲総合病院への給水を日本水道協会、自衛隊と連携し実施

関東地整等（珠洲市）
（珠洲総合病院）

可搬式浄化装置（珠洲市）
（水資源機構）

北陸地整（穴水町）
（穴水町小又地区）

中部・中国地整（能登町）
（能登町役場）

近畿地整（七尾市）
（七尾港より市内）

東北地整（七尾市）
（自衛隊入浴施設給水）

給水支援ニーズの変遷

- 発災当初からは、日水協・自衛隊・国交省3機関の給水車は、避難所における市民への飲料水等の給水、病院における飲料水や雑用水の給水、市役所や災害対応施設における給水等を実施。
- 発災2週間目以降は、日水協・自衛隊の給水車は引き続き断水地域の飲料水等を中心に給水活動を行い、国交省の給水機能付き散水車は仮設トイレや洗濯用水などの生活に必要な給水活動や応急仮設住宅建設時の検査給水、上水道配水管の復旧作業支援として、漏水点検のための給水活動など活動の幅を広げて実施。

飲料・雑用水給水

能登町役場前

珠洲市　珠洲総合病院

トイレ給水

輪島市内　仮設トイレ、トレーラトイレ等約270基

洗濯給水

輪島市門前地区　移動式ランドリーカー、避難所洗濯機

漏水点検等給水

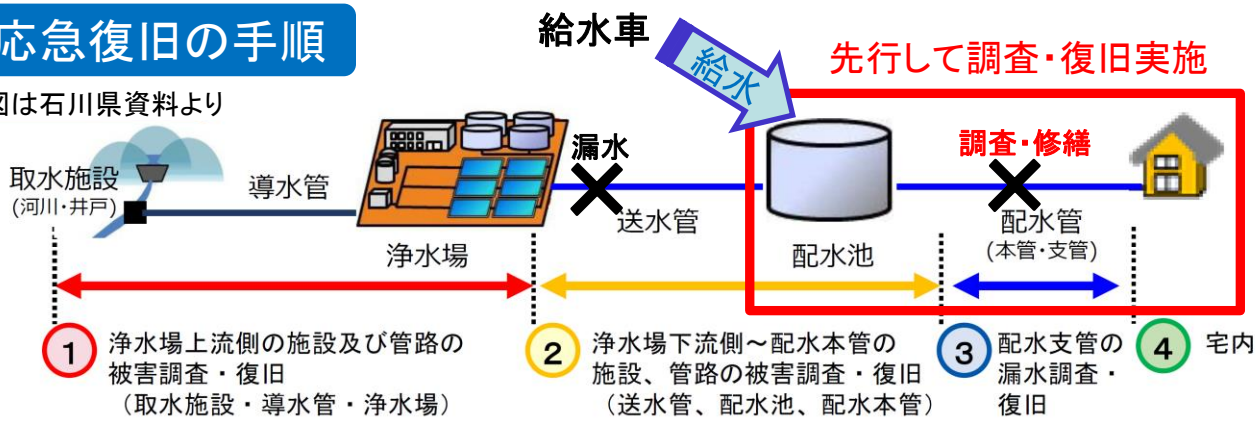
輪島市　清土（しゅうど）ポンプ場、大滝ポンプ場　配水管漏水調査

上水道配水管の復旧支援

- 配水管の被害調査・復旧は、管に圧のかかった水を充填し、漏水発生箇所を特定し、修繕を行う繰り返し作業により実施。
- 浄水場→配水池→配水管と片押しの調査ではなく、配水池への送水管の復旧前に給水車によって水を貯め、配水管に水を流すことによって先行調査を実施でき、並行作業によって上水道の通水を早めることが可能。

応急復旧の手順

図は石川県資料より



漏水点検給水

輪島市清土ポンプ場　日本水道協会による配水管漏水調査への給水支援
（輪島市門前地区　横浜市と連携した漏水調査、管路洗浄のための給水）

輪島市門前地区水道復旧担当
日本水道協会（横浜市）より

・門前地区の清土（しゅうど）ポンプ場上流側の送水管の復旧は、道路崩壊等により修理が困難な状況であった。結果として、修理が完了したのは、3月20日となった。

・本来であれば清土ポンプ場下流側の漏水調査は、3月21日以降となるが、給水車により清土ポンプ場配水槽へ応急給水することで、2月24日から清土ポンプ場下流側（七浦地区）の漏水調査及び修理を、清土ポンプ場上流側の復旧を待たずに進めることができた。

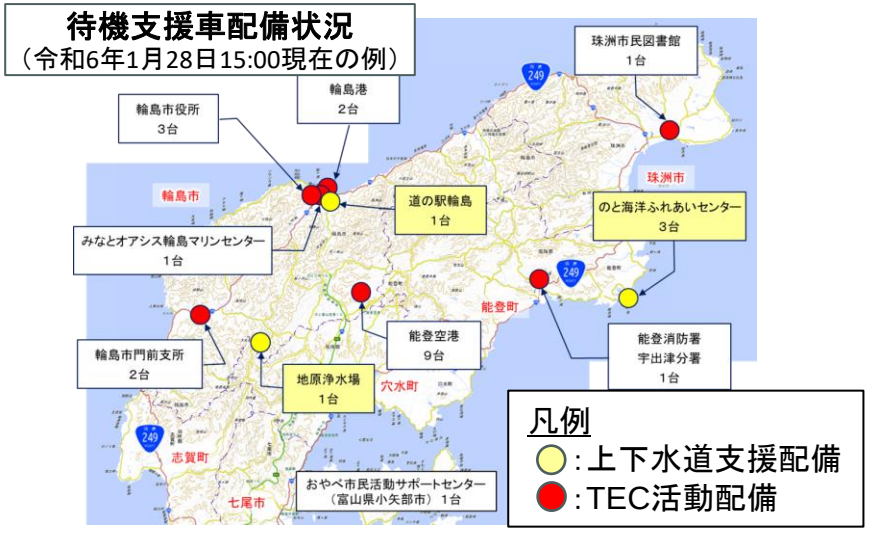
・この結果、清土ポンプ場下流側（七浦地区）の**復旧を約1か月短縮することができた。**

・取り組みを他地域に広げ、復旧時間の短縮に取り組んでいる。

待機支援車を活用した上下水道復旧従事者のための宿泊支援

国土交通省

- 被災地での宿泊先の確保が難しく、被災地周辺の宿泊拠点から被災現場までの移動時間も要するため、<u>上下水道の復旧活動を支援</u>するため、作業従事者の宿泊先として待機支援車10台（東北地整1台、関東地整2台、北陸地整1台、四国地整5台、九州1台）を追加配備。
- **輪島市**（みなとオアシス輪島マリンセンター、道の駅輪島、地原浄水場）、**珠洲市**（珠洲市民図書館）、**能登町**（のと海洋ふれあいセンター）へ配備。



道の駅 輪島（輪島市）

のと海洋ふれあいセンター（能登町）

地原浄水場（珠洲市）

照明車を活用した多様な被災地支援（1/30終了）

国土交通省

- 照明車（関東地整19台、中国地整5台、近畿地整15台）を活用して下記を実施。
  - ①資源エネルギー庁が配備する電源車が派遣されるまでの間の応急対応として、国土交通省所有の照明車を電源車として先行派遣し、避難所への施設給電
  - ②電力供給が十分ではない避難所へコンセント給電（スマートフォン等家電製品への電力供給）
  - ③野外の仮設トイレ等への照明の提供
- 珠洲市（旧本小学校（1/6～7）、第三長寿園（1/7～19）、勤労者センター（1/8～14）、粟津ビニールハウス（1/9～11）、元気の湯跡（1/9～15）、珠洲市役所（1/19～29）、旧柏原保育園（1/20～24））、輪島市（港公民館（1/7～19）、道下集会所　（1/8～18）、浦上公民館（1/8～12）、剱地原子力防護施設（1/8～29））で実施。
- 電源復旧が進んだことから1／30にて輪島市、珠洲市における電源支援を終了。

旧本小学校への電源供給

道下集会所への外部照明提供

令和６年能登半島地震における市町への物資支援【石川県】

国土交通省

【3月25日12:00現在】

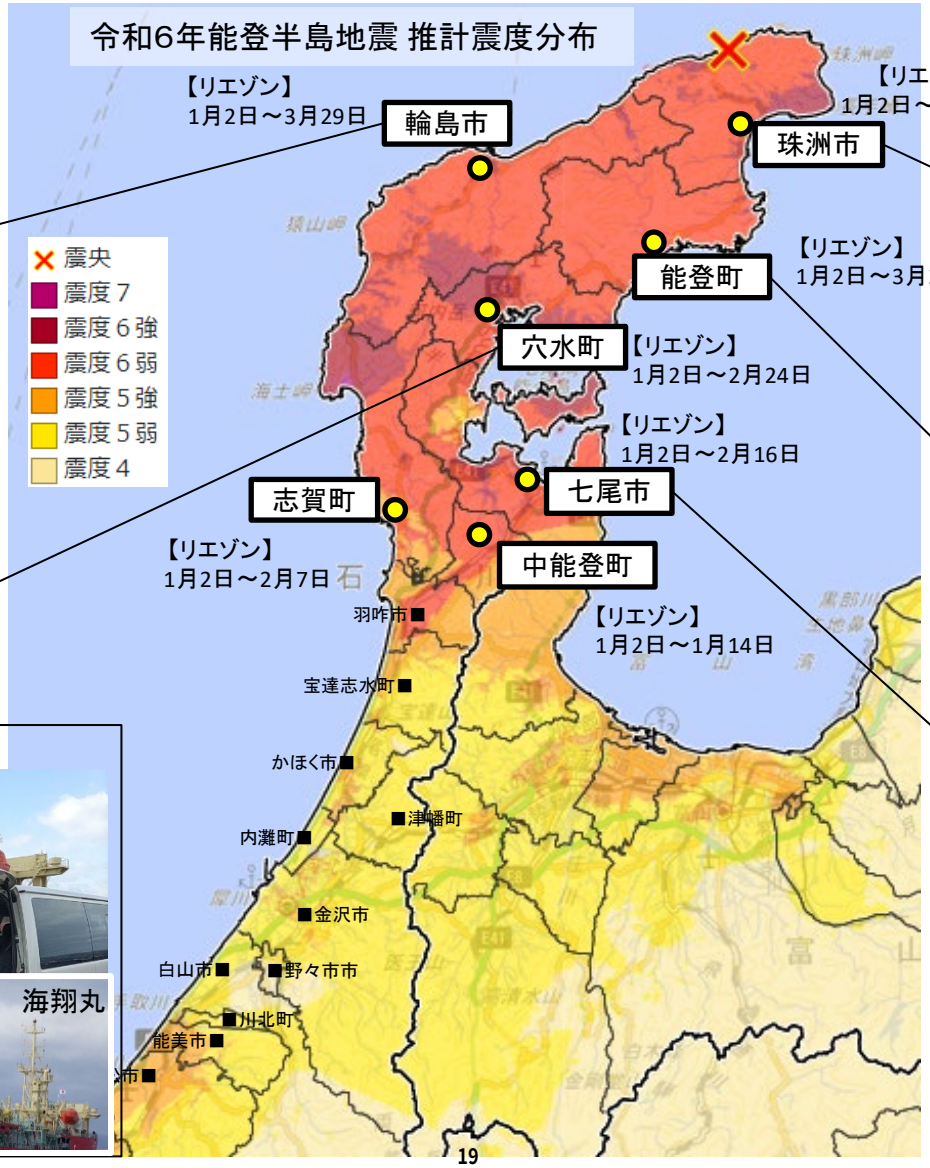
- 1月1日の地震発災以降、震度5弱以上を観測した石川県内全市町（11市8町）とのホットライン速やかに確立し、特に被害の大きい能登地方の7市町に国土交通省職員をリエゾンとして派遣
- リエゾンが収集した情報やホットラインでの要請を受け、石川県・富山県の各市町にプッシュ型で物資支援等を実施

輪島市

飲料水(0.5ℓ)	12,400本
(1.5ℓ)	1,312本
(2.0ℓ)	598本
給水袋	1,290個
食料	13,894食
カイロ	2,900個
衛生用品	3,200個
全身用ウェットタオル	237個
水のいらないシャンプー	55個 等

穴水町

飲料水(0.5ℓ)	5,216本
(1.5ℓ)	126本
(2.0ℓ)	144本
食料	835食
カイロ	150個 等



珠洲市

飲料水(0.5ℓ)	8,536本
(1.5ℓ)	2,184本
(2.0ℓ)	2,144本
給水袋	575個
食料	2,630食
カイロ	3,090個 等

能登町

飲料水(0.5ℓ)	6,200本
(1.5ℓ)	294本
(2.0ℓ)	360本
食料	5,692食
カイロ	60個 等

七尾市

飲料水(0.5ℓ)	504本
食料	294食
カイロ	2,000個 等

九州地方整備局の浚渫兼油回収船「海翔丸」による支援物資の海上輸送

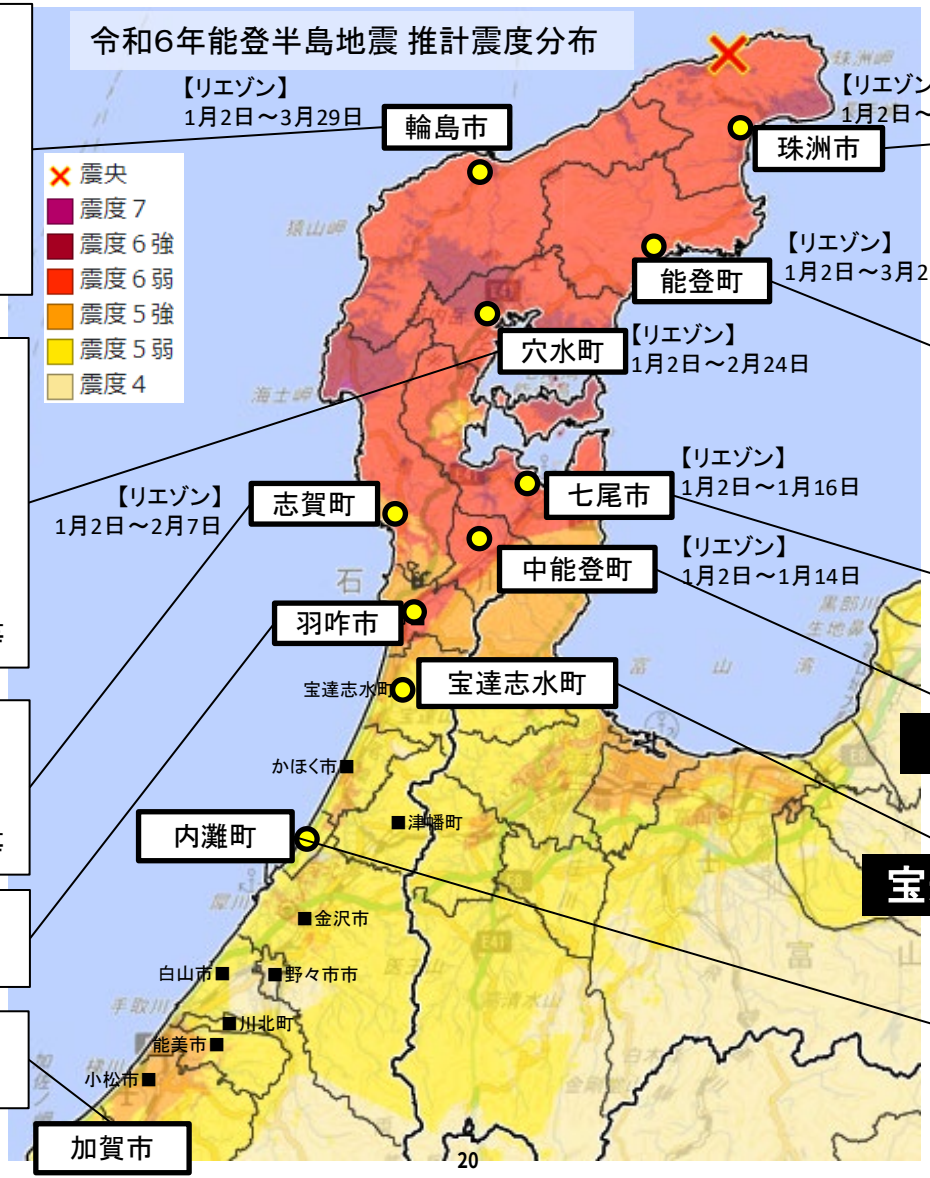
○その他、石川県へリエゾンを派遣中

令和６年能登半島地震における市町への資材支援【石川県】

国土交通省

【3月25日12:00現在】

➢ 1月1日の地震発災以降、道路路面損傷、崩落土砂、水道など被災した施設の応急復旧用資材等を災害協定等を活用し、順次、被災した各市町にプッシュ型で提供。



輪島市

ブルーシート	2,390枚
簡易トイレ	7,900個
非常用トイレ	300個
仮設トイレ	30基
土嚢袋	800個
トラロープ	200m
砕石	6,544m3 等

穴水町

ブルーシート	788枚
簡易トイレ	3,800個
仮設トイレ	18基
常温合材	450個
凍結防止剤	40個
土嚢袋	400個
カラーコーン	200個
砕石	3,215m3 等

志賀町

ブルーシート	1,372枚
土嚢袋	2,600袋
カラーコーン	1,000個
砕石	825m3 等

羽咋市

ブルーシート	100枚
土嚢袋	5,528袋

加賀市

カラーコーン	240個
コーンバー	200個

珠洲市

ブルーシート	3,305枚
仮設トイレ	46基
簡易トイレ袋	6,600袋
土嚢袋	15,490袋
トラロープ	1,000m
砕石	1,000m3 等

能登町

ブルーシート	830枚
簡易トイレ	3,550個
砕石	5,992m3
カラーコーン	1,400個
凍結防止剤	100個
耐候性大型土嚢袋	3,500個 等

七尾市

ブルーシート	500枚
投光器	10台
カラーコーン	1,000個 等

中能登町

ブルーシート	645枚
防炎シート	81枚
土嚢袋	400袋 等

宝達志水町

ブルーシート	1,950枚
土嚢袋	5,000袋
カラーコーン	100個 等

内灘町

ブルーシート	1,011枚
土嚢袋	5 ,000袋
カラーコーン	100個等

令和６年能登半島地震における市町への物資・資材支援【富山県】

国土交通省

【3月25日12:00現在】

➢ 1月1日の地震発災以降、道路路面損傷、崩落土砂、水道など被災した施設の応急復旧用資材等を災害協定等を活用し、順次、被災した各市町にプッシュ型で提供。

氷見市

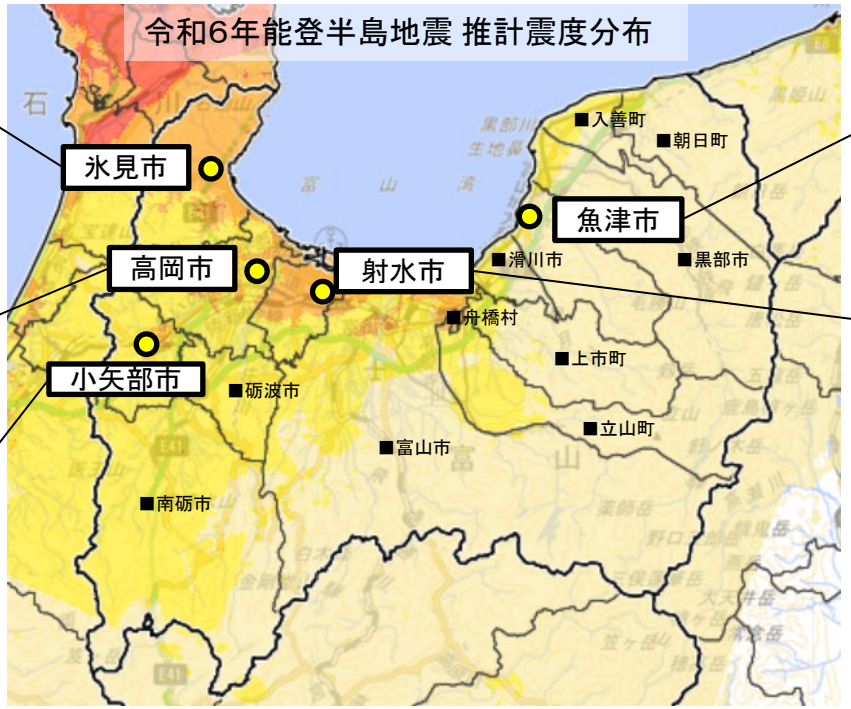
飲料水（0.5ℓ）	1,080本
ブルーシート	700枚
カラーコーン	200個
土嚢袋	1,000個

高岡市

ブルーシート	437枚
土嚢袋	18,000個

小矢部市

カラーコーン	100個
バリケード	30個
コーンバー	50個
工事看板	20個



魚津市

ブルーシート	100枚

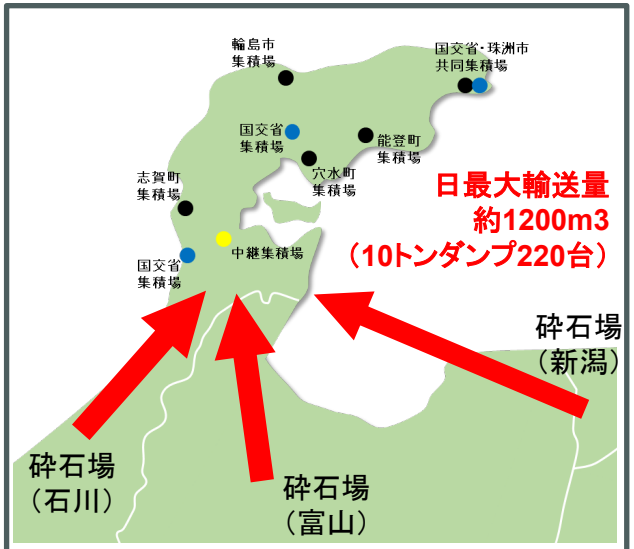
射水市

カラーコーン	100個
コーンウェイト	60個
バリケード	20個
コーンバー	50個
常温合材	50袋
工事用看板	20個

富山河川国道事務所による物資・資材支援

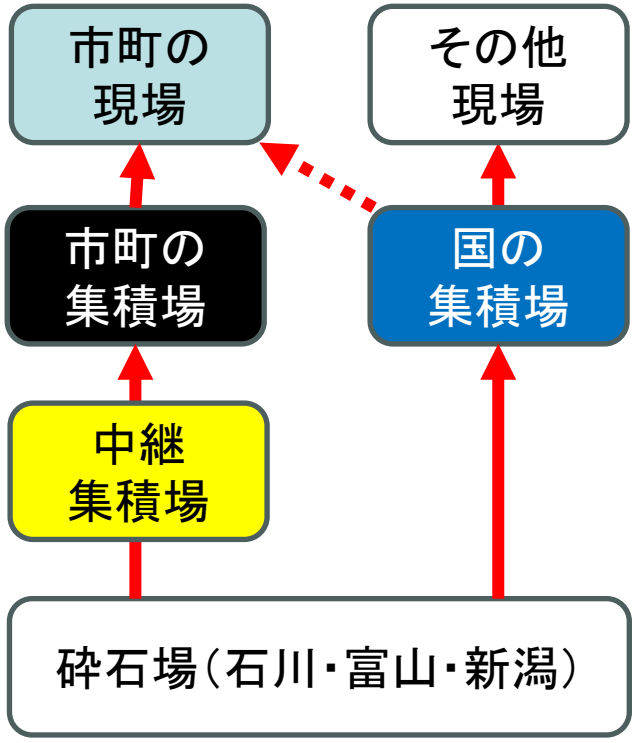
砕石の効率的調達により迅速なインフラの緊急復旧を実現

- 北陸地方整備局では、市町※1の要請に基づき、1月6日～3月11日の間、災害協力協定団体※2によって砕石約18000m3・山砂約4000m3を調達し、市町集積場まで輸送。
- 各自治体では、資材調整窓口が現場と調整しつつ、市町集積場から砕石等の必要量を小運搬して、インフラや公共施設の各種緊急復旧工事を効率的に実施。
- 北陸地方整備局でも、独自に約9000m3の砕石を集積場に確保し、国実施の緊急工事や鉄道復旧工事、市町の工事で必要となった突発的な需要に対応するバッファーとして活用。砕石不足で緊急復旧が停滞することが無いように万全の体制を構築。



【提供した自治体】 ※1
輪島市、珠洲市、能登町、穴水町、志賀町

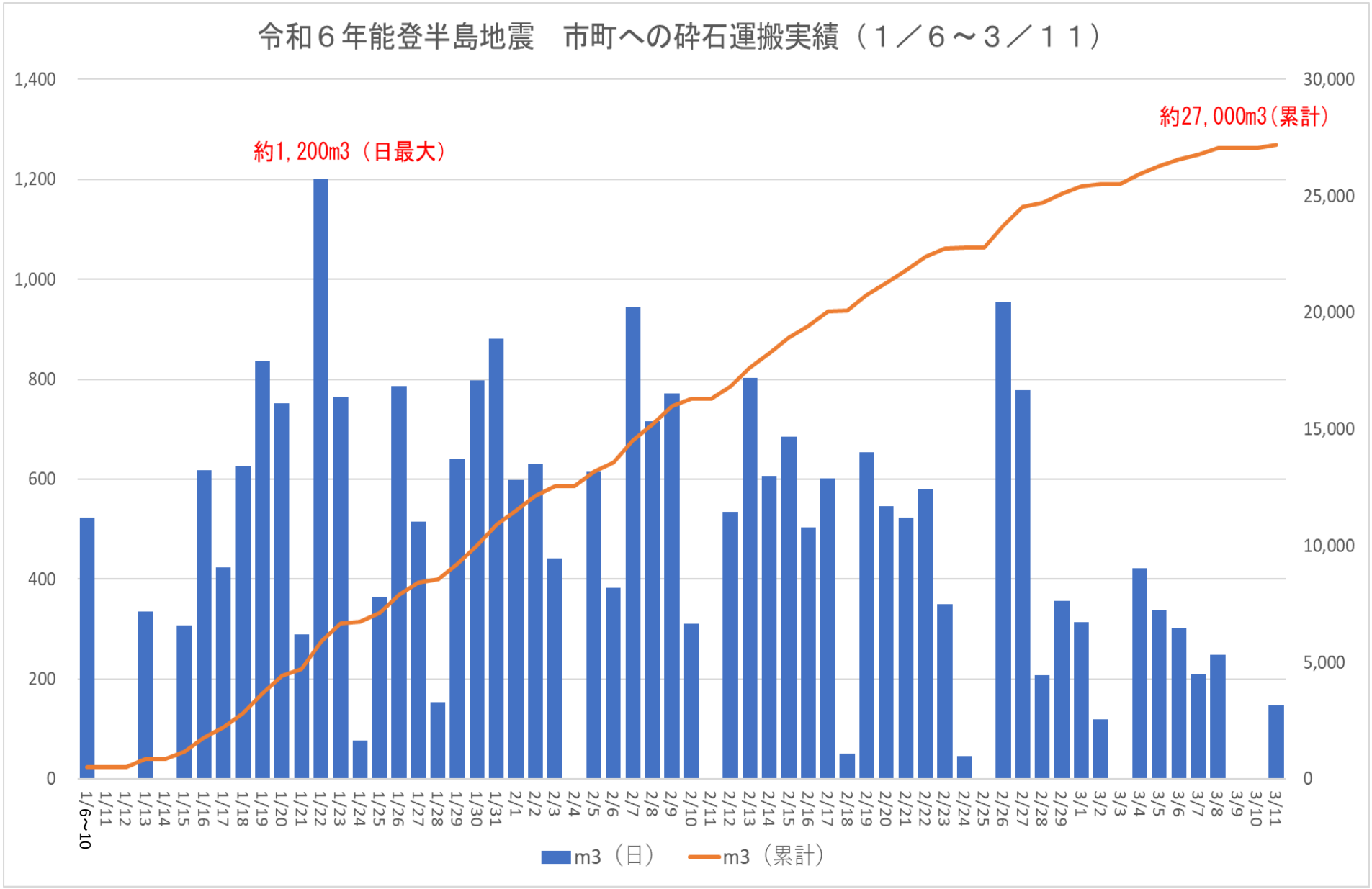
【災害協力協定団体】 ※2
○県建設業協会（石川・富山・新潟）
○日本道路建設業協会



※砕石支援は3月11日で終了

インフラ復旧の資材の調達について（砕石運搬の実績）

国土交通省



道路利用者の安全確保のために保安資材の提供

北陸地方整備局では、市町※1の要請に基づき、1月4日以降、カラーコーン約4300個、コーンバー約900本、看板（矢印等）約200枚等の保安資材を調達・提供※2し、市町が、①道路の緊急復旧を待つ間の通行できない場所を明示するための安全対策、②道路の段差に注意を促すための安全対策、等として活用。地震により被災した施設の二次災害の防止、安全利用に貢献。

カラーコーン、矢印看板で通行止めを明示

段差注意看板で注意喚起

カラーコーン等の輸送

【提供した自治体※1】

- （石川県） 能登町、七尾市、穴水町、宝達志水町、志賀町、内灘町、加賀市
- （富山県） 氷見市、射水市、小矢部市

【災害協力協定団体※2】

- 石川県建設業協会
- 長野県建設業協会
- 日本道路建設業協会

家屋の応急手当に欠かせない「ブルーシート」を支援

- 北陸地方整備局では、市町の要請に基づき、被災家屋の雨、風を当面防ぎ、避難生活にも役立つ「ブルーシート」約1万4千枚を調達し、被災市町まで輸送。被災市町では、役場等で地域住民に配布し、被災家屋の屋根にかける等で活用される。
- 限られたブルーシートを有効に活用していくため、ホットライン・リエゾンで必要量を確認し、石川・富山の物資支援中継拠点を活用しつつ、その他の支援物資と合わせて被災地に効率的に送り込む。
- ブルーシートの調達は、災害協定協力団体の他、他地整（中部、近畿）から協力。

- 北陸地方整備局管内事務所
- 中部地方整備局
- 日本建設業連合会
- 長野県建設業協会
- 近畿地方整備局
- 日本埋立浚渫協会
- 北陸港湾空港建設協会連合会

↓

中継拠点
金沢河川国道事務所
富山河川国道事務所

↓

被災市町

↓

地域住民等

ブルーシート支援実績（枚）	
石川県	
珠洲市	3,305
輪島市	2,390
宝達志水町	1,950
志賀町	1,372
内灘町	1,011
能登町	830
穴水町	788
中能登町	645
七尾市	500
羽咋市	100
小計	12,891
富山県	
氷見市	700
高岡市	437
魚津市	100
小計	1,237
合計	14,128

公共施設と宅地の一体的な液状化対策に向けた北陸地方連携調整会議

北陸地方整備局では、「公共施設と宅地の一体的な液状化対策に向けた北陸地方連携調整会議」（北陸地方会議）を設置し、液状化対策に関する情報提供・事例紹介を通じて、被災自治体の液状化対応のサポートを実施している。

開催実績

第1回（1/29）	これまでの液状化対策に関する事例紹介、窓口の設置
第2回（2/14）	熊本地震を受けた液状化対策事例の紹介（熊本市講演）
	市街地液状化対策推進ガイダンスの説明（都市局）
第3回（2/20）	東日本大震災を受けた液状化対策事例の紹介（潮来市講演）
第4回（2/28）	北海道胆振東部地震を受けた液状化対策の紹介（札幌市講演）
第5回（3/13）	東日本大震災を受けた液状化対策事例の紹介（浦安市講演）
第6回（3/29）	被災した宅地の安全確保支援・公共土木施設災害復旧事業について（本省）

第6回までの参加自治体

【新潟県】
新潟県、新潟市、長岡市、柏崎市、加茂市、十日町市、糸魚川市、上越市、胎内市
【富山県】
富山県、富山市、高岡市、氷見市、滑川市、砺波市、小矢部市、射水市
【石川県】
石川県、金沢市、小松市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、津幡町、内灘町、中能登町、宝達志水町

他機関の活動を下支え　安否不明者の捜索活動への支援

- 能登半島で発生した土石流災害による不明者を捜索する警察・消防部局の活動を支援。
- 捜索活動の迅速化・拡大をはかるための協力要請を受け、国土交通省、ゼネコン、コンサルタント会社が二次災害防止のための掘削範囲確認、土砂・流木の撤去等の支援を実施。

搜索機関との作業前の打合せ(2/19)

他機関の活動を下支え　捜索活動の二次災害防止のための助言

国土交通省
北陸地方整備局

- 能登半島で発生した土石流災害による不明者を捜索する警察・消防部局の活動を支援。
- 珠洲市仁江町地区での捜索活動を進めるに当たり、二次災害防止の観点で技術的助言をもらいたいとの協力要請。日本建設業連合会及び建設コンサルタンツ協会北陸支部の協力により、国土交通省、日建連協定会社、地質調査会社が捜索機関に対して、崩壊斜面の状況確認等についての助言を実施。

他機関の活動を下支え　土砂災害の拡大の懸念への助言

- 珠洲市より斜面崩壊拡大の懸念があるとの連絡を受け、清水町地区、仁江町地区の崩壊箇所緊急調査を国土交通省と地質調査会社が実施。
- 降雨により泥濘化した崩落土砂の二次移動や落石等が確認されたことから、珠洲市長に対し、現地調査の結果を報告するとともに、今後の余震、降雨等への留意点について助言。

令和6年3月7日　珠洲市長へ調査結果を報告

清水町地区調査状況(3/1)

仁江町地区調査状況(3/6)

他機関の活動を下支え　のと鉄道の早期復旧に向けた事業間連携

国土交通省
北陸地方整備局

- 「のと鉄道災害復旧連絡調整会議」を設置し早期復旧に向けた連携・支援項目を共有
- のと鉄道七尾線（能登中島駅～穴水駅間）の被災箇所のうち、特に被害の大きな土砂流入２箇所について、道路資材の活用による早期の作業着手や各種情報の共有により復旧作業を円滑化

のと鉄道災害復旧連絡会議

- 開催日時：令和6年1月25日10:00～10:45（Web開催）
- 出席者　：のと鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)、石川県、国土交通省（鉄道、道路部局）

<早期復旧に向けた連携項目>

①被災地進入路の道路資材の貸与

②流入土砂搬出先の提供

③アスファルトプラント稼働情報共有

※その他、早期工事着手に向けた手続き支援

1月25日「のと鉄道災害復旧連絡会議」

のと鉄道復旧工事における事業間連携

①進入路仮設材として道路資材（砕石）を活用

・線路内に流入した土砂を搬出するため、道路復旧工事のために確保していた砕石の一部を、土砂流入箇所にアクセスする仮設斜路・進入路用の資材として一時的に活用し、土砂撤去作業に早期着手（約1箇月前倒し）。

②撤去した土砂を能越自動車道作業ヤードで受け入れ

・撤去した土砂を、道路復旧工事のために確保している残土処理地にて受け入れることで、土砂搬出作業を円滑化。

「国道249号等道路啓開支援センター」備蓄資材搬出作業

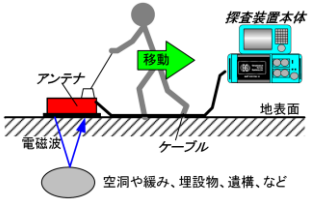
のと鉄道進入路造成作業

他機関の活動を下支え　災害支援物資の集積場の安全性を調査

国土交通省
北陸地方整備局

- 北陸地方整備局では、建設コンサルタンツ協会北陸支部の協力により、災害支援物資の集積場として使用予定の「マリンタウン催事会場」及び「駐車場」が安全に使用可能か空洞等を調査。
- 探査機による調査で施設の安全性を確認し、支援物資を集約、供給へ。

マリンタウン駐車場の割れ



マリンタウン催事会場

災害支援物資を集約、供給へ

他機関の活動を下支え　応急給水拠点施設の保全

- 能登半島の浄水場の多くが被災したことから、日本水道協会、国土交通省等による給水活動は金沢市企業局の協力のもと、多くの給水車が金沢市内の応急給水拠点施設で補給を受け、被災地へ向かっていました。
- １日あたり約100台の給水車が利用していたところ、施設の侵入路の轍がひどくなり、修繕が多くなったことから、金沢市企業局より国土交通省に支援要請。敷鉄板設置により、長期化する給水対応においても安全にスムーズな水道補給が可能となっています。

敷鉄板の設置

着手前（修繕しても轍が発生）

整備完了

大型給水車　通過状況

設置作業状況

不陸整正、敷鉄板設置作業

「被災地の住民の生命を守るため、全国から集結した国土交通省や水道事業者の熱意あふれる応援に、心から感謝します。」
（金沢市企業局長　談）

他機関の活動を下支え　水道の早期道復旧のため送水管を運搬

国土交通省
北陸地方整備局

- 七尾市内の県営水道復旧に向け、新潟県で調達した送水管の運搬確保が課題に。
- 石川県水道企業課より1月22日に運搬のための10tトラック３台確保を現地対策本部（国交省）に要望、北陸地方整備局が日建連へ協力要請したところ同日にトラックを確保。
- 翌23日21時には送水管を七尾市に運搬完了した。石川県による漏水調査を速やかに行うことができ、点検の結果は被災箇所が少なく、早期の通水が可能と判明。この結果、七尾市内の断水早期解消の予定公表につながった。

1/23　冬期、夜間のトラック運搬
（日本建設業連合会北陸支部（清水建設（株）北陸支店）協力）

1/25　仮設管路の敷設完了

要請より約30時間で管運搬完了

漏水調査は水を流さないと実施できないが、管運搬で漏水調査が可能となり、早期の補修につながった。

【石川県　水道企業課より】
「遅滞なく漏水調査をすることができ、七尾市藤橋供給点への送水見込みを ２ カ月以上※から１月末（約2週間）までと具体的な変更発表が速やかにできた」　県水の送水見込みの変更を受けて、七尾市の通水見込みも見直しされた。（※：1/16時点想定）

1/24現在

復旧見込区分	累積世帯数	累積比率
通水済	5,811	27.4%
1月中	6,003	28.3%
2月前半	6,890	32.4%
2月後半	8,402	39.6%
3月中	9,472	44.6%
4月以降	21,202	100.0%

県水の通水見込みを踏まえて、大幅に復旧見込みを見直し

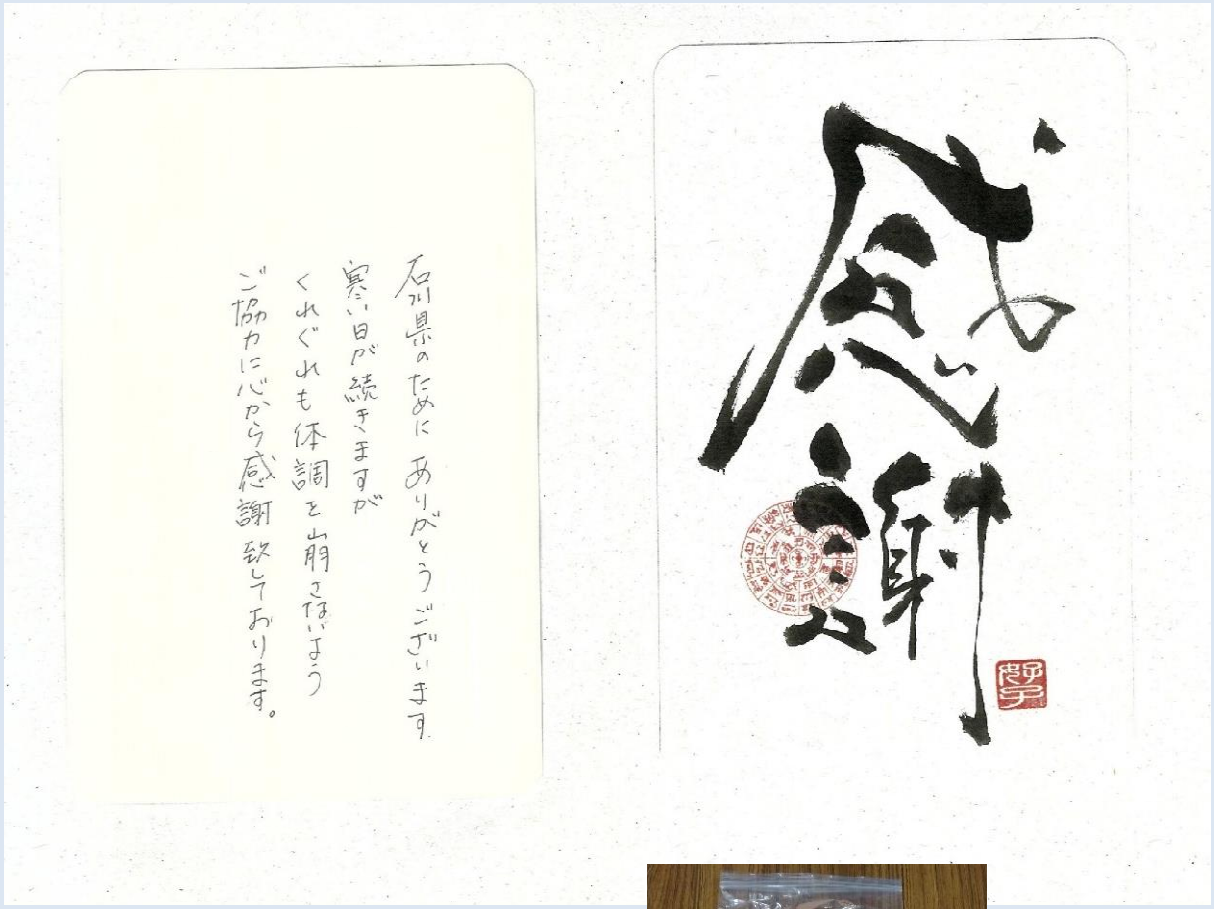
1/26現在

復旧見込区分	累積世帯数	累積比率
通水済	5,925	27.9%
1月中	6,103	28.7%
2月前半	8,094	38.1%
2月後半	17,860	84.2%
3月中	20,582	97.0%
4月以降	21,202	100.0%

七尾市水道$_3$ 県水・事故水エリア別一覧及び復旧状況確認表　より集計抜粋

TEC-FORCE隊員に感謝の手紙をいただきました

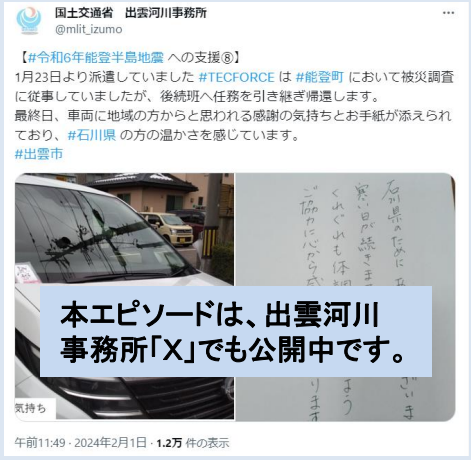
石川県で住民の方からTEC-FORCE隊員に頂いたお手紙と差し入れ



TEC-FORCE隊員の声

「引継ぎに向かうために朝、車に行くと感謝の気持ち（お手紙と差し入れ）があり、派遣期間が10日間と長かったけど、少しは被災地の皆様の為になったのかなとありがたく感じました。
他の車には無かったので、近所の方がしてくれたのかなと思います。
（移動車にテックのステッカーを貼っていたので目立っていたかも）」

お手紙に同封されていた差し入れ



TEC-FORCE隊員と宿泊先ホテルとの交流

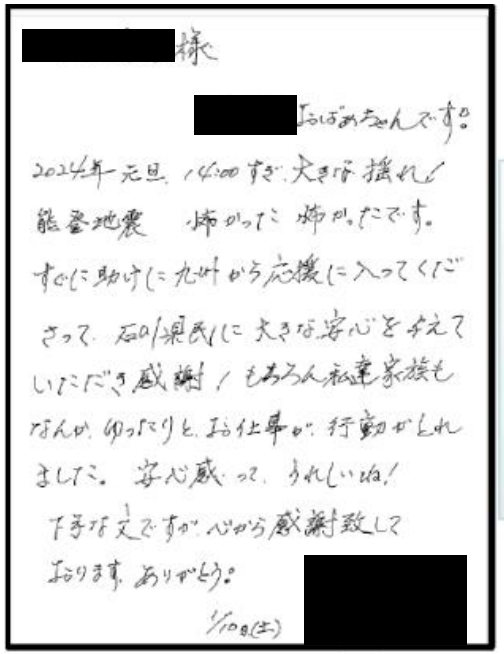
○宿泊先ホテルとの良好な関係を構築・維持
- 引継ぎ・内業場所や大量のTEC調査資機材の置場所の提供
- 調査隊員の食事時間の臨機な対応
- 発熱した隊員の個室部屋確保やおかゆ食事の提供
- 宿泊先ホテルへ感謝状、記念アルバムの授与

期間：令和6年1月6日～2月27日（53日間）
宿泊者数：合計247名

ホテル食堂での打合せ

手作りの食事（写真は夕食）
TEC隊員の健康を支える源

宿泊先ホテルへ贈呈した感謝状



宿泊先ホテルからのお礼の手紙

ホテル大広間での内業

宿泊先ホテルに贈呈したアルバム（抜粋） ホテル関係者との集合写真は全8班分あり

道路の緊急復旧

【道路の緊急復旧状況】
- 県、市町からの要望による被災箇所の緊急復旧は3月15日に完了。

【孤立集落の早期解消・ライフラインの復旧】
- 自衛隊と連携し内陸側・海側から緊急復旧を進め13箇所で通路を確保。孤立集落は1月19日には実質的に解消。
- 生活インフラの優先復旧要望43箇所のうち、3月25日時点で42箇所が完了。

【能越自動車道・のと里山海道】
- 能越自動車道、のと里山海道の通行止め区間について、3月15日までに全線で1車線通行（北向き（輪島方面）への一方通行）を確保。

【国道249号権限代行区間】
- 3月18日に輪島市野田町地内の大規模被災箇所の緊急復旧工事に着手。
- 3月18日に中屋トンネルの被災状況を専門家が点検。

【技術検討委員会】
- 甚大な被災を受けた能越自動車道輪島道路・穴水道路及び直轄権限代行区間等の早期復旧に向けた対策について、「第2回　令和6年能登半島地震 道路復旧技術検討委員会」を開催。

【のと鉄道復旧支援】
- 国道249号等の道路復旧工事と、のと鉄道復旧工事との事業間連携により、のと鉄道復旧工事の早期着手、作業の円滑化を図った。（P30）

【協定団体等の活動】
- （一社）日本建設業連合会において、能越自動車道、のと里山海道、国道249号等の緊急復旧を実施。（P76）
- （一社）日本道路建設業協会北陸支部において、国道249号の権限代行区間等の路面補修・拡幅工事を実施。砕石などの資材運搬を担う。（P78）
- （一社）建設コンサルタンツ協会北陸支部において、市町管理の構造物緊急点検を実施。（P80）
- （一社）建設コンサルタンツ協会北陸支部及び（一社）全国地質調査業協会連合会北陸地質調査業協会において、権限代行区間の調査、設計等を実施。（P79,82）
- （一社）プレストレスト・コンクリート建設業協会において、能登大橋の緊急復旧を実施。（P84）

令和6年能登半島地震　能登半島　道路の緊急復旧の状況

令和6年3月26日（火）　07時00分時点
国土交通省・石川県

○1/2から幹線道路の緊急復旧に着手。24時間体制を構築し、地元を中心とした各建設業協会や(一社)日本建設業連合会の応援を受け、緊急復旧作業を順次実施。
○沿岸部では被災箇所が多数確認されているため、自衛隊と連携し、内陸側・海側の両方からくしの歯状の緊急復旧も進めており、13方向で通路を確保。
○孤立集落は1/19に実質的に解消。引き続き、水道・電力などの要望、自治体の要請を踏まえ、緊急復旧を実施。

・主要な幹線道路における緊急復旧の進捗率

	1/7 7時		現在
半島内の主要な幹線道路	約6割	⇒	約9割
うち国道249号沿岸部※1	約2割	⇒	約8割（迂回路を考慮：約9割）
沿岸部への到達※2	6方向	⇒	13方向

※1：輪島市門前町～珠洲市役所、※2：内陸側・海側の両方

・孤立地区数の推移※3

1月5日8時	33地区（最大3,345人）
1月19日	実質的に解消※4

※3：内閣府防災資料より
※4：2/13に全て解消

・生活インフラ復旧に必要な重要箇所の緊急復旧状況※5

優先復旧の要望数	43箇所
うち完了数	42箇所（約9割）

※5：水道、電力、通信、放送事業者より聞き取り

写真③　国道249号法面崩落
R6.1.2 時点

写真④　国道249号烏川橋
R6.1.8 時点

写真⑤　国道249号大谷トンネル
R6.1.6 時点

写真①　国道249号中屋トンネル
R6.1.12 時点

写真②　国道249号緊急復旧完了

1/14　復旧前

1/15　復旧後

凡例

- ：国交省対応（走行可能）
- ：県対応（走行可能・この他でも作業を実施）
- ：自衛隊対応（走行可能）
- ：自動車専用道路（走行可能）
- ：被災規模　大（本復旧で対応）
- ：沿岸部への到達点

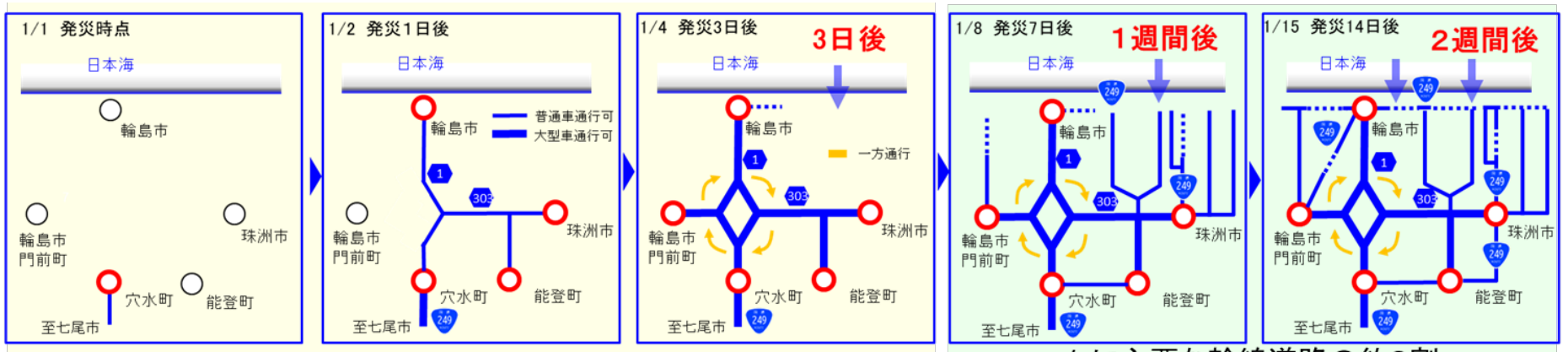
（一般道）

令和6年度能登半島地震　能登半島　道路復旧の経緯

国土交通省
北陸地方整備局

＜孤立集落の解消に向け、県・自衛隊と連携し、陸・海・空からくしの歯状の緊急復旧を以下の手順で実施＞

- 1/2　七尾市から、輪島市役所、珠洲市役所、能登町役場まで普通車での通行を確保
- 1/4　輪島市役所、珠洲市役所、能登町役場まで大型車が通行可能となり、縦軸・横軸ラインを確保
- 1/8「くしの歯」の「歯」になる幹線道路の緊急復旧を継続し、能登半島内陸及び海側から7ルートを確保
- 1/15 日本海側へ9ルートを確保し、緊急復旧を加速。国道249号等半島内の主要な幹線道路の約9割で緊急復旧完了



発災後3日で縦軸・横軸ラインを確保

1/9に主要な幹線道路の約8割、
1/15に約9割の緊急復旧が完了

○緊急復旧（道路啓開）作業の様子

県道1号　輪島市三井町で
の啓開作業（1月3日撮影）

深見海岸　海側からの
重機運搬（1月14日撮影）

自衛隊と連携した、内陸側・海側の両方からの緊急復旧

〇沿岸部では被災箇所が多数確認されたため、自衛隊と連携し、海から重機や資材を運搬。
〇国道249号輪島市稲舟町地内の啓開を2方向から行うことにより、孤立集落を迅速に解消。

命の道の確保に向けた時間との闘い（輪島市・珠洲市・能登町）

国土交通省
北陸地方整備局

早期に大型車両が通行可能な状況にする！　発災３日間の闘い

- 北陸地方整備局では、発災直後より能越自動車道の大規模被災のSNS情報が入るとともに、現地施設点検においても大規模被災を確認。輪島市・珠洲市・能登町へは一般道を活用した道路啓開を優先させる方針とする。
- 1/1　19時頃より、日建連北陸支部と情報共有。日建連各社は災害出動に向けた検討開始。
- 1/2早朝からのTEC-FORCE道路調査班の調査によって普通車での通行可能を確認。同日11時頃、日建連北陸支部に道路啓開の正式出動要請。鹿島建設、清水建設が出動。
- 1/2　20時、道の駅なかじまロマン峠（七尾と穴水の間）でTEC-FORCE道路啓開班・2社が合流。輪島市方面への啓開（清水）、珠洲市・能登町方面への啓開（鹿島）を順次前進しながら作業（亀裂解消、段差解消、土砂崩れ対応等）。
- 1/4　15時、輪島市・珠洲市・能登町への大型車通行確保。大型タンクローリー等の大型車両が通行可能になる。

清水建設
宮本利典氏

鹿島建設
安齋 勝氏

- 石川県民として、「一刻も早く道路啓開を行わなければならない」との強い思いを持ち、復旧現場へ向かいました。復旧現場は、道路の片側車線が完全に崩落し想像を絶する被災状況で愕然としました。
- 携帯電話がほぼつながらず、外部との連絡がほとんど取れないもどかしさ、緊急地震速報等を受信できない恐怖感を感じながら啓開作業を行っていたところ、震度5程度の余震が発生し、周囲の山が地鳴りが聞こえ二次被害に巻き込まれないかとビクビクしました。
- 余震やさらなる崩落、崩壊の発生に注意しながら、作業員の安全確保を念頭に置きかつ、迅速な道路啓開作業を実施することが大変苦労しました。

- １月２日に会社から連絡を受け、すぐに新潟の自宅から自家用車で現地に向かいました。被害の大きい七尾から珠洲までの道路啓開の支援要請を受け、２日夜から３日未明にかけて、順次、労務や重機などの資機材を投入し、２４時間体制で作業に着手しました。社員や協力会社の皆さんの協力が非常に心強かったです。
- 道路啓開までの２日間は、一刻も早く道路を確保しなければという使命感から、余震が続く中、全員がほぼ不眠不休で作業にあたりました。
- 「災害対応は建設業の第一義」であるとの決意のもと、今後も我々建設業界が一丸となって復旧作業に全力を挙げて取り組んでまいります。

【3日間の出来事】

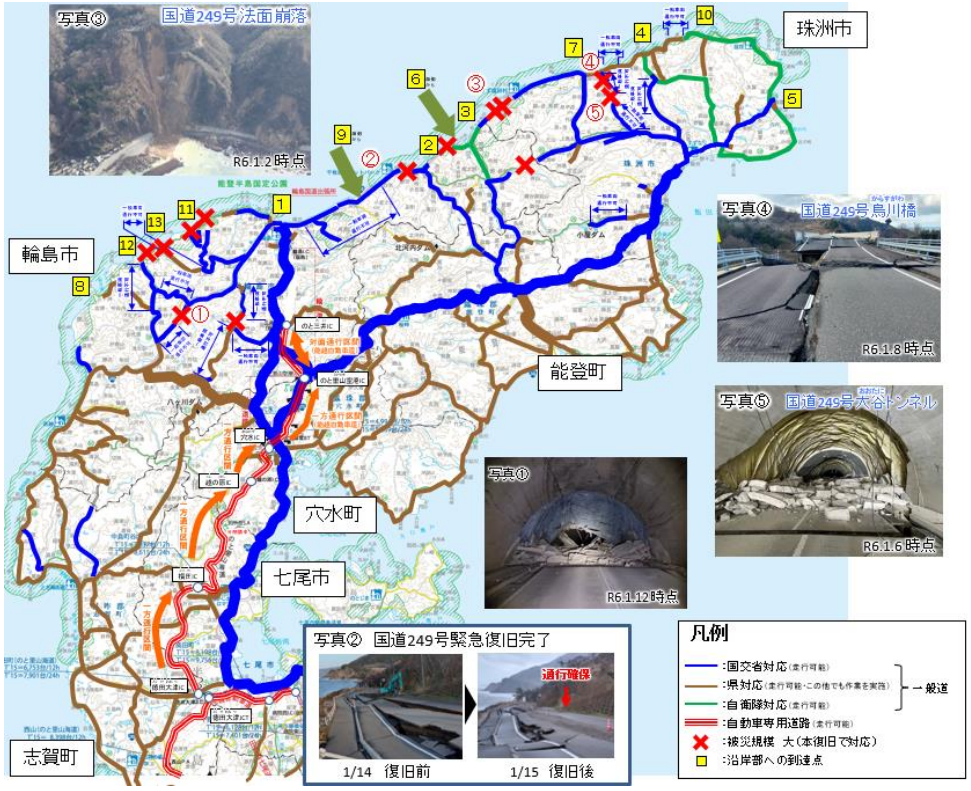
- ◆ 最初に入った啓開チームは4日大型車通行まで不眠不休で対応
- ◆ 道路が大渋滞で重機燃料、砕石を運び込むのも大変。1現場で3名の社員（①現場監督、②次の現場確認、③燃料など後方支援）を配置
- ◆ 作業進捗の伝達に苦慮。通信できるポイントまで移動せざるを得なく、時間を要した
- ◆ 緊急車両を通行させながらの昼間の施工だったのではかどらなかった
- ◆ 緊急で警察と協議し、夜間通行止めにして集中的に啓開作業をした

北陸地方整備局
TEC-FORCE道路啓開班
田中義太郎氏

- 1/1は富山県氷見市で被災しました。津波避難のため海岸部の自宅から高台に家族・兄弟13名で避難。能登の現場に駆けつけるため、深夜に富山市の宿舎へ再避難させ、家族の安全を確保した上で1/2夜明け前に出発しました。
- 最初に被災した能越道を見た際の印象は、不思議と驚異は感じませんでした。中越地震や熊本地震で出会った崩壊した道路とその復旧方法が思い浮かび、何をどう段取りするか、目の前の課題解決に使命感をおぼえました。
- 道を啓開することではじめて、救急・消防・自衛隊などが被災地にたどり着き、被災地の皆さんの救援につながると、日建連各社ともお互いを鼓舞し、寝ずの3日間でしたが初動の道路啓開にあたりました。

奥能登の早期の孤立解消とライフライン復旧を目指して①

- 1月2日から幹線道路の緊急復旧に着手。地元を中心とした各建設業協会や（一社）日本建設業連合会の応援を受け、緊急復旧作業を順次実施。
- 沿岸部では被災箇所が多数確認されているため、自衛隊と連携し、内陸側・海側の両方から緊急復旧をすすめ13箇所で通路を確保
- 孤立集落は、1月5日の段階で33地区（最大3，345人）であったが、1月19日には実質的に解消。その後も集落への帰還支援等のために集落へルートを啓開を実施
- 能登半島内の主要な幹線道路では1月15日には緊急復旧の進捗率が約9割に到達。
- 生活インフラ復旧に必要な重要箇所の緊急復旧は、電力・各事業者の優先復旧要望43箇所のうち、3月25日時点で42箇所が完了。



能登半島地震における道路の緊急復旧状況（3月25日時点）

- トンネルの崩壊は、想像を絶するもので驚愕しました。さらなる崩落、崩壊の発生に注意しながら、安全確保を考え、被災地の方がいち早く通行できるように作業を進めます。

国道249号輪島市門前町浦上地内の復旧・啓開状況

- 大規模崩落現場に到達した時、その衝撃は想像を絶するもので、どう手を付けて良いものか大変悩みましたが、社を挙げて啓開方法を模索し、何とか突破しました。最終的に４路線の啓開作業を無事に終えることができました。

国道249号輪島市河井町地内の復旧・啓開状況（迂回設置）

奥能登の早期の孤立解消とライフライン復旧を目指して②

国土交通省
北陸地方整備局

➢ 大規模な土砂崩壊を目の当たりにして、愕然としました。ライフラインが寸断される中、全社的な適時支援により燃料等の資機材、職員及び作業員の水や食料、就寝用車両を確保し、被災者の孤立を解消すべく道路啓開作業に尽力しました。

国道249号輪島市河井町地内の復旧・啓開状況

➢ 夜間に要請を受け、急いで翌朝に現場に入りましたが、被害の大きさを目の当たりにし、愕然としました。「何とかしよう」との思いが、早期道路啓開の結果に繋がり、志賀町長をはじめ、皆様に喜んでいただき、一助になったと感じています。

志賀町道輪島荒屋線の復旧・啓開状況

➢ 復旧現場の近辺を拠点にするのは困難であったため、早朝5時に隣の富山県から出発し、片道3時間以上かけて現場へ到着した後、常に危険と隣り合わせでの啓開作業は、体力的にも精神的にもとても辛い状況でした。

輪島市道嶽登山線の復旧・啓開状況

➢ 水も電気も燃料も何もない、まさに土木の原点とも言える状況下において、少しでも被災地域に貢献できるよう、ゼネコンマンとしての使命感のみで限界突破に日々挑戦しました。

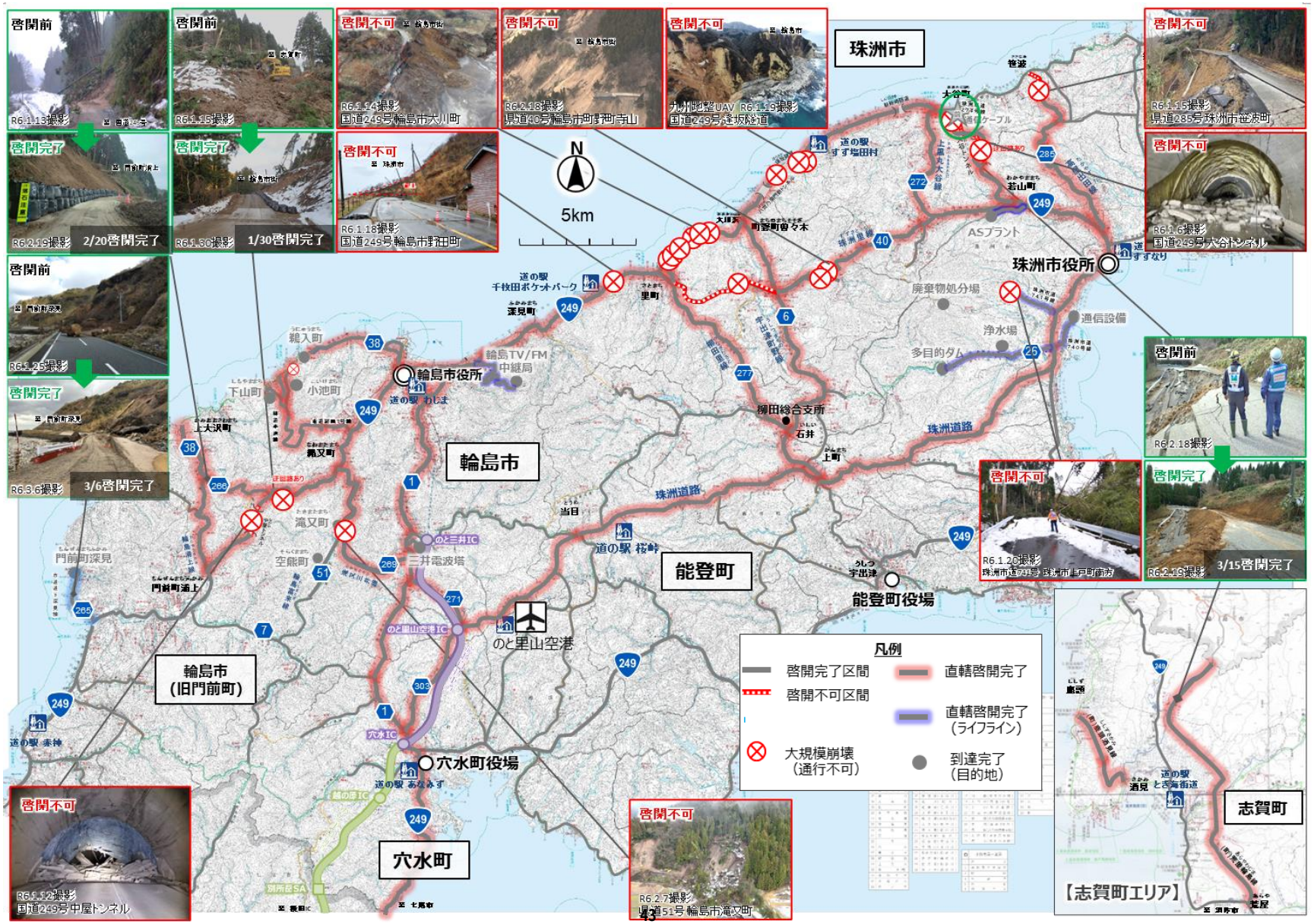
県道26号珠洲穴水線の復旧・啓開状況

緊急復旧に協力した建設会社
【日本建設業連合会】
(株)安藤・間、(株)大林組、鹿島建設(株)、(株)熊谷組、五洋建設(株)、佐藤工業(株)、清水建設(株)
大成建設(株)、東急建設(株)、戸田建設(株)、西松建設(株)、前田建設工業(株)　　(※五十音順)

国道249号等の緊急復旧詳細状況図（国交省対応分）

国土交通省
北陸地方整備局

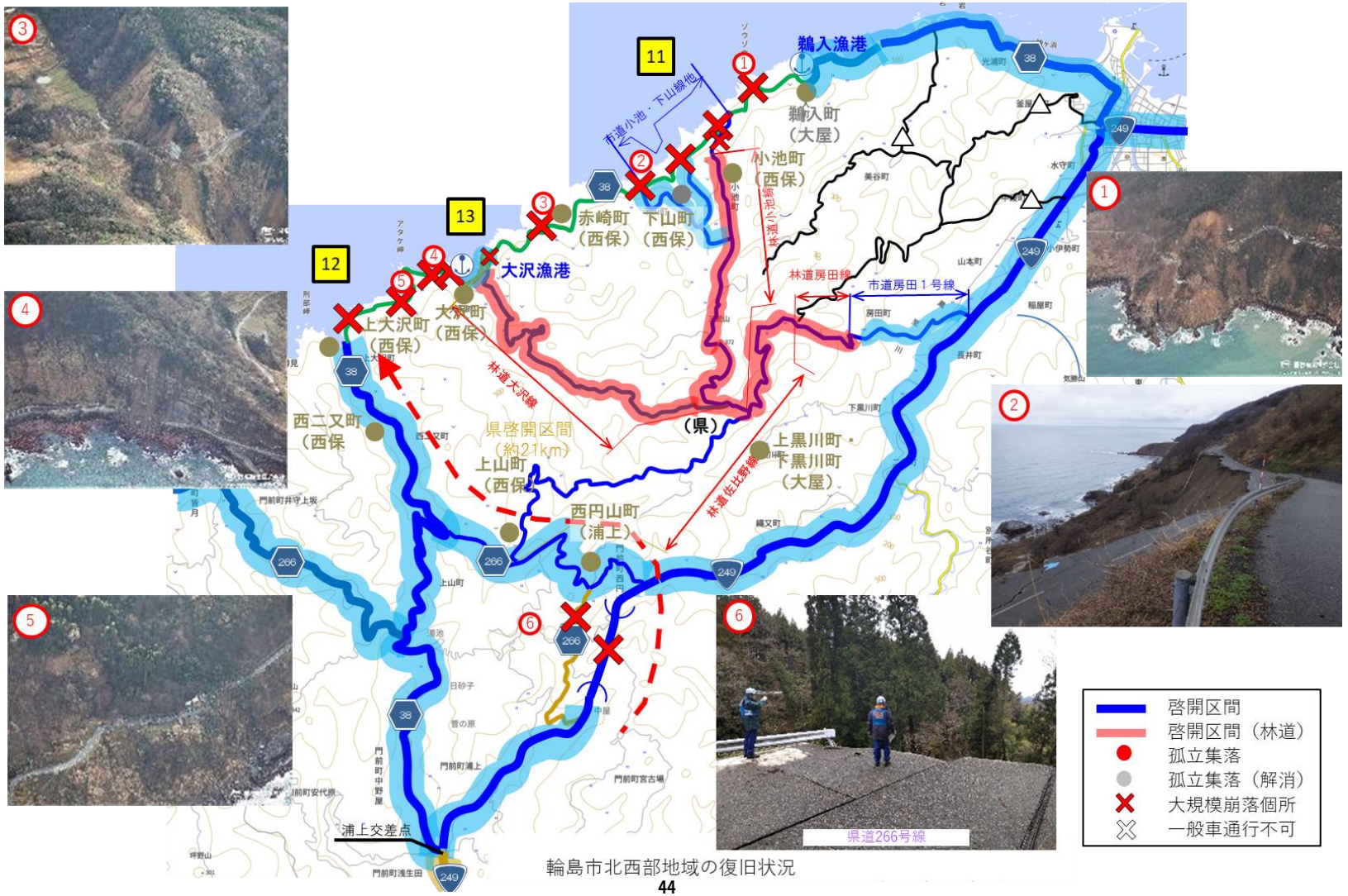
◆ 県、市町から要望のあった被災箇所の緊急復旧は3／15をもって完了（啓開不可区間除く）



あらゆる道路を啓開した早期の孤立解消（輪島市北西部地域の例）

国土交通省
北陸地方整備局

- 輪島市北西部地域では、県道38号線沿岸部の急峻な地形において大規模崩落が多数発生。
- 沿岸部に点在した孤立集落に対し、内陸の国道249号からくしの歯状に国道・県道・市道・林道といったあらゆる道路を啓開。



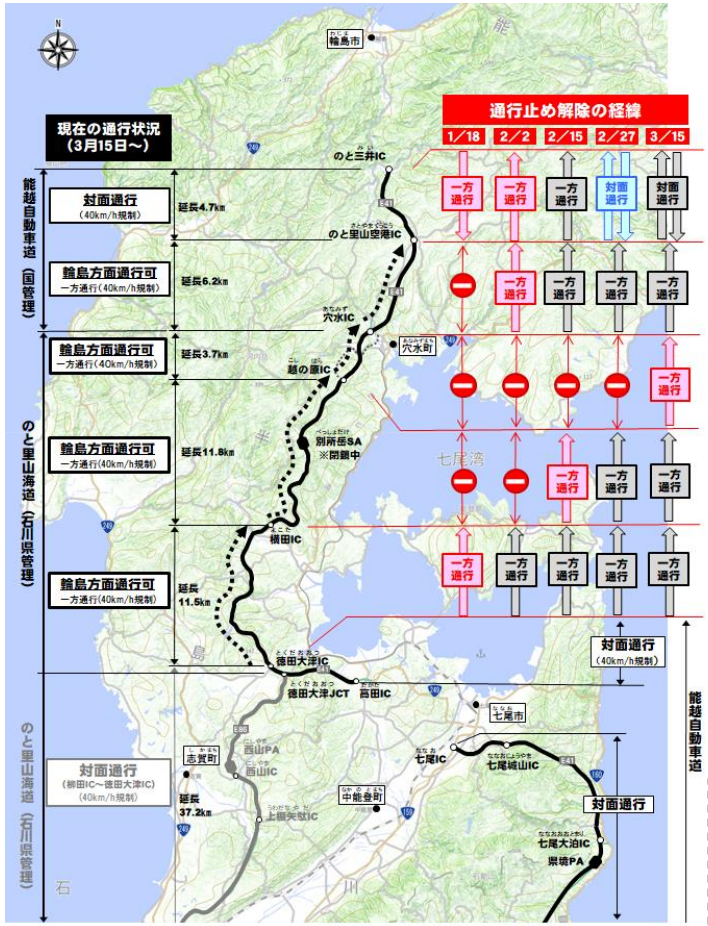
輪島市北西部地域の復旧状況

能登の大動脈の一日も早い機能回復に向けて

能越自動車道・のと里山海道の3/15北向き全線交通開放までの道のり

国土交通省
北陸地方整備局

- 奥能登に向かう唯一の自動車専用道路である能越自動車道及びのと里山海道（徳田大津IC～穴水IC）の総延長約49km区間において、大規模崩壊28箇所を含む合計178箇所の被害が発生。
- 能登の大動脈の一日も早い機能回復は能登の復旧に不可欠であるため、北陸地方整備局、石川県が連携し、まずは被災地へ向かう北向き1車線の通行止解除を目指して緊急復旧工事を実施。
- 国は別所岳SAより北を担当し、日本建設業連合会6社9班、プレストレストコンクリート建設業協会1社により緊急復旧を実施。
  県は別所岳SAより南を担当し、石川県建設業協会5社、石川県舗装業協会6社により緊急復旧を実施。総力戦であたる。
- 1/18、2/2、2/15と順次通行止め区間を解除し、3/15に全線で北向き1車線の通行止め解除となる。



緊急復旧作業状況
（のと里山空港ＩＣ～穴水IC）

大林組
若原　史宏氏

- 道路啓開時に余震や積雪による大規模崩落部の更なる土砂崩壊発生の恐怖を覚えながらも、建設会社の社会的使命を果すべく「一日でも早い道路啓開」を胸に作業を行っていたため、全線１車線開通は大変嬉しく思います。

大成建設
藤本　昭弘氏

- 被災地に来て甚大な被害であることを痛感し、一日も早い復旧を実現しなければならないという使命感に駆られました。また、協力会社と共に二次災害を絶対に起こさず、復旧に貢献したいと思いました。

戸田組
柿島　利昭氏

- 未曾有の震災で私自身も被災しましたが、地元建設業者の一員として、できる限り早く地域の復旧作業に貢献したいと思い、現場に向かいました。 現地では想像を絶する状況に直面し、困難な対応が求められましたが、何とか完成に漕ぎつけたこの道路が被災地支援に活用されており、感無量です。

川田組
吉田　元樹氏

- 石川県民として、被災地である奥能登への道路復旧が一刻も早く行われることを願い、支援班一丸となって復旧作業を行いました。復旧に全力で取り組んでいただいた工事関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

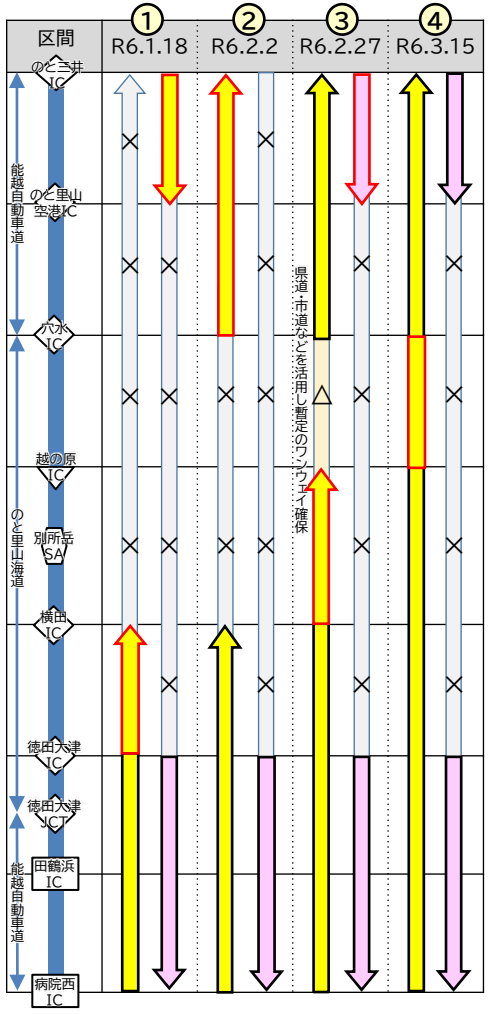
緊急復旧に協力した建設会社

【日本建設業連合会】（株）大林組、鹿島建設（株）、（株）熊谷組、清水建設（株）、大成建設（株）、前田建設工業（株）
【プレストレストコンクリート建設業協会】 三井住友建設（株）
【石川県建設業協会】 姥浦建設（株）、（株）川田組、（株）千場建設、（株）戸田組、和田内潜建（株）
【石川県舗装業協会】 加州建設（株）、北川ヒューテック（株）、沢田工業（株）、辰村道路（株）、丸建道路（株）、吉田道路（株）

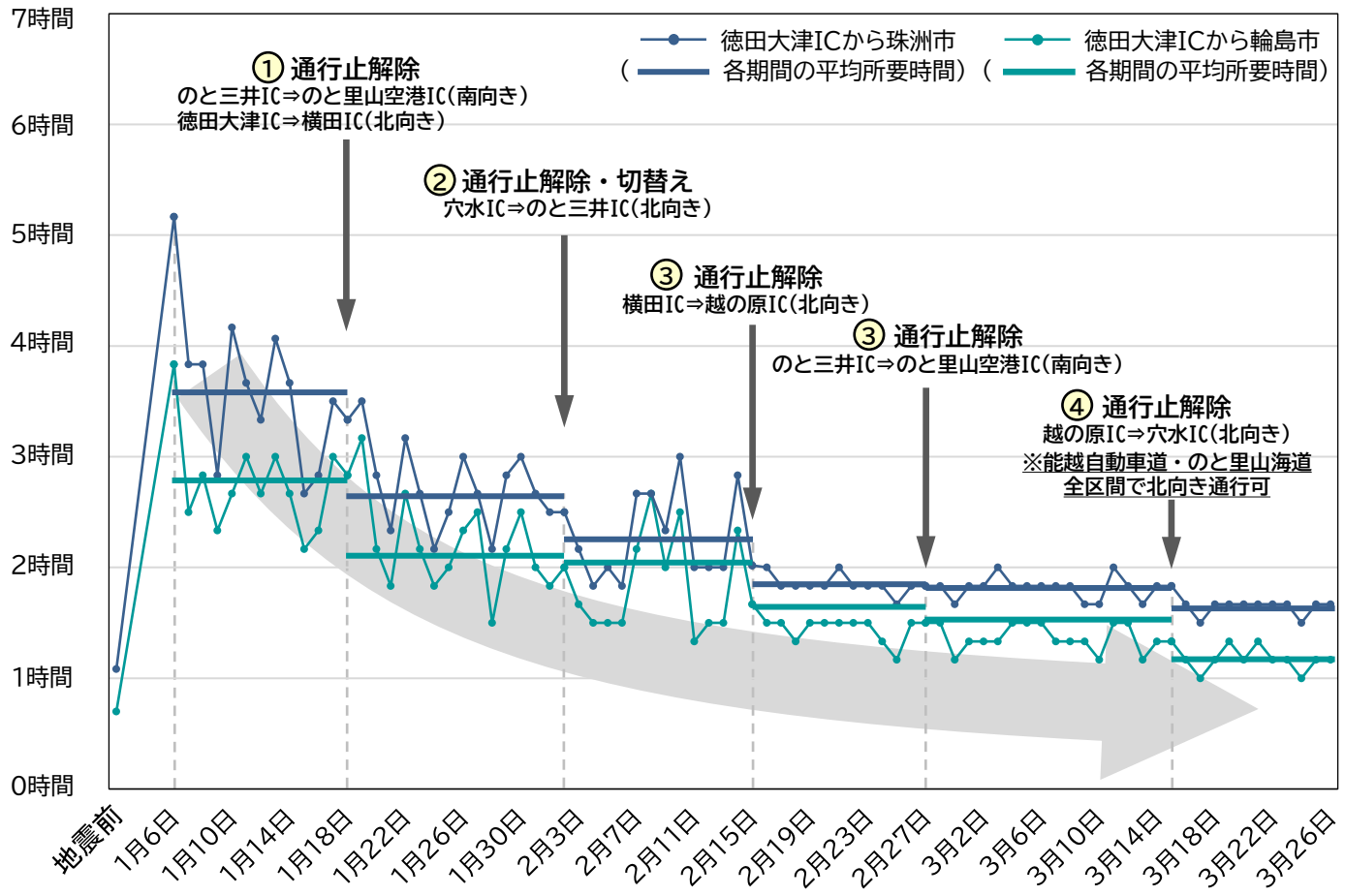
交通状況（所要時間の変化）

- 発災直後は奥能登地域への限られたアクセス路に交通が集中し、所要時間は地震前の約3～4倍に増加
- のと里山海道・能越自動車道の復旧が進み、奥能登地域へのアクセス路確保とともに所要時間が減少

◆時系列



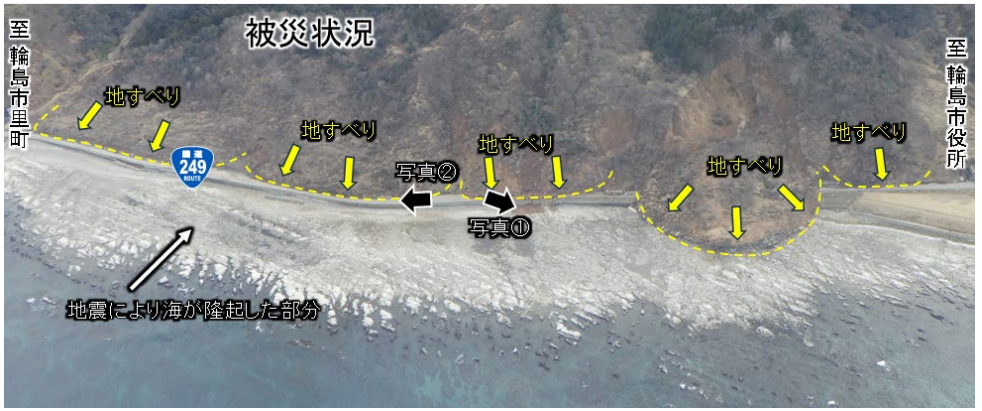
◆所要時間の推移（奥能登2市2町方面）



（出典）
所要時間は10分単位でまるめ
地震前：R3全国道路・街路交通情勢調査より算出
1月6日～1月15日：実走実績（徳田大津ICからの出発時刻は7時～9時）
1月16日～3月26日：令和6年能登半島地震 道路復旧見える化マップ

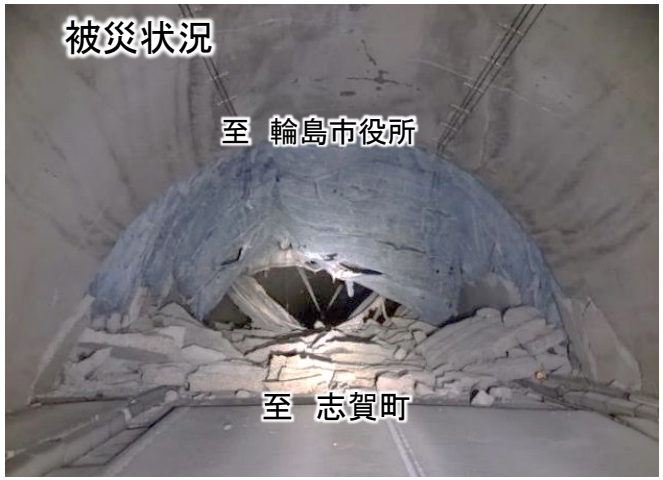
国道249号大規模被災箇所の緊急復旧工事に着手（輪島市野田町）

- 輪島市野田町付近の大規模崩落により通行不可。
- 大規模崩落箇所の早期復旧を図るため、3月18日より緊急復旧工事に着手。



国道249号大規模被災箇所の点検実施・対応策検討（中屋トンネル）

- 輪島市門前町浦上地内の中屋トンネル内部の覆工崩落により通行不可。
- 早期復旧を図るため、3月18日に専門家による被災状況の点検を実施し、対応策について検討。



【被災状況点検】

国土技術政策総合研究所、国立研究開発法人土木研究所の専門家による点検

第2回 令和6年能登半島地震 道路復旧技術検討委員会

国土交通省
北陸地方整備局

○「第２回 令和６年能登半島地震 道路復旧技術検討委員会」を開催。
・開催日時　令和６年３月２７日（水）　14：00～16：00
・開催場所　北陸地方整備局　金沢河川国道事務所　会議室（Web併用）
＜目的＞
甚大な被害を受けた能越自動車道 輪島道路・穴水道路及び直轄権限代行区間等の早期復興に向けた対策について、専門的な学識経験者等に基づき助言をいただく

令和6年能登半島地震 道路復旧技術検討委員会　構成員
（敬称略）

所属・役職	氏　名	備　考
金沢工業大学 金沢工大附置研究所　地域防災環境科学研究所　教授	川村　國夫	防災工学、トンネル、地盤災害、基礎・地盤工学
国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 道路基盤研究室長	渡邉　一弘	道路土工 （斜面、法面等）
国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 橋梁研究室長	白戸　真大	橋梁全般
国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 構造・基礎研究室長	西田　秀明	道路基礎、トンネル
国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 道路地震防災研究室長	上仙　靖	道路地震防災 （リスクアセス等）
土木研究所 地質・地盤研究グループ 上席研究員（特命事項担当）	浅井　健一	土砂崩壊・地質
土木研究所 地質・地盤研究グループ 土質・振動チーム　上席研究員	佐々木　哲也	盛土構造 （土質等）
土木研究所 道路技術研究グループ トンネルチーム　上席研究員	日下　敦	トンネル全般
土木研究所 構造物ﾒﾝﾃﾅﾝｽ研究ｾﾝﾀｰ（CAESAR） 橋梁構造研究グループ　上席研究員	大住　道生	橋梁耐震

○：委員長

【議事概要（委員からの主な意見）】
「令和6年能登半島地震における当面の復旧に向けた施工方針・留意点」骨子（案）について

○
- 海岸隆起を活用した復旧を行う場合、自然環境に対して十分検討する必要がある。
- 盛土崩壊箇所の復旧について、弱部を除去することが必要。
  地山が深いところでは、のり尻での押さえ盛土を確実に行う必要がある。
- 地下水や沢筋における排水対策も必要。
- トンネル復旧においては、検討から開通後までの各段階ごとのモニタリングが必要。
- 被災箇所では、復旧位置の検討に併せて、構造の見直しも考える必要がある。

委員会の様子

委員会後のブリーフィングの様子

河川・砂防・海岸の緊急復旧

【河川・砂防】

- 地理院調査データ、防災ヘリの調査をもとにTEC-FORCE調査を進めた結果、石川県内では6河川、14箇所で河道閉塞等を確認。県からの要請に基づき、整備局は監視カメラを設置するなど、リアルタイム監視体制を構築し、管理主体の自治体に監視映像を提供。

- 土砂災害発生箇所のうち河道閉塞箇所などの二次災害が発生するおそれの高い箇所については、県からの要請に基づき整備局による緊急的な砂防工事等を実施。

- また、河道閉塞等に対する対策工法や施設配置計画、降雨時の警戒避難等を検討するため、「能登半島地震における土砂災害対策委員会」を開催。検討を踏まえ、紅葉川（市ノ瀬地区）・牛尾川・寺地川について梅雨期までに緊急工事を行い、その後恒久対策工事を進めて行く予定。

- 行方不明者の捜索活動が行われていた地区については、観測態勢の確保も行いながら、捜索活動等への協力を行ってきたところであるが、捜索活動が一時中断したことから、3月より本格的に応急復旧工事等に着手。

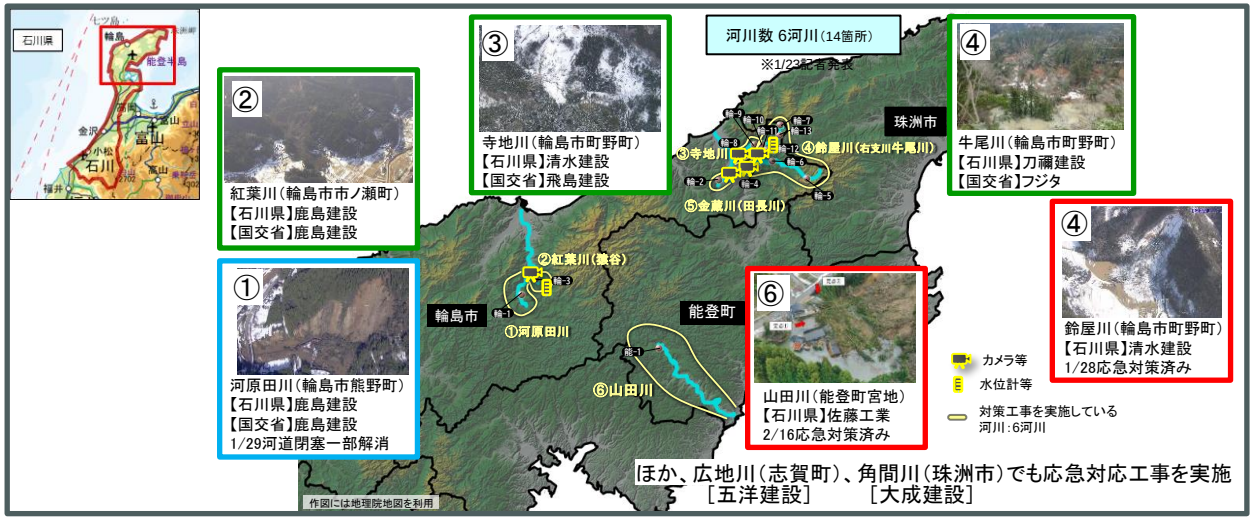
【海岸】

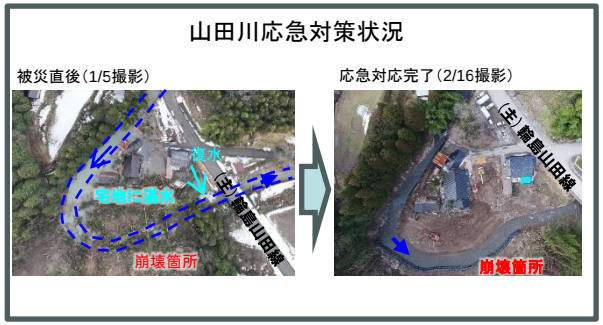
- 海岸堤防が倒壊するなど甚大な被害が発生しており高潮・波浪等に対して浸水のおそれが高まっ ている宝立正院海岸については、県からの要請に基づき整備局による復旧工事を実施。

奥能登の河道閉塞への対応

国土交通省
北陸地方整備局

- 輪島市、珠洲市、能登町では300箇所で土砂災害が発生し、6河川14箇所で河道閉塞を確認。河道閉塞箇所が決壊した場合、土石流化して下流の地区を襲う恐れがあることから、流水を安定的に流すための河道確保及び河道確保が図られるまでの監視体制の強化等を順次実施。
- これまで緊急性の高い3箇所で緊急工事を実施し、2月中旬までに湛水解消等の応急対策を完了。現在、出水期に向けた対応を6箇所で実施中（工事中：3箇所、準備中：3箇所）。
- 3箇所については河道確保が図られるまでの応急的な措置として土砂ダム及び湛水池の状況をUAV調査、水位計等により監視中。





緊急復旧に協力した建設会社
【日本建設業連合会】鹿島建設、佐藤工業、五洋建設、清水建設、大成建設、飛島建設、フジタ

【石川県建設業協会】刀禰建設

- 図面もなく手探り状態のなか、今までの経験、知識だけで作業を進め、かつ従事する全ての者の安全確保が必須であった。厳しい環境の中、被災地の一日でも早い応急復旧完了という認識を、皆で持たなければ、やり遂げられなかったと思う。

- 現地に乗り込み、私の想定を上回る被害の大きさに驚かされました。能登の震災復興が前進し、少しでも被災された方が安心できる環境が確保されることに貢献したいと思います。
  地域の安全、作業の安全を最優先に取り組みます。

- 広地浄水場上流の河道閉塞で「一刻も早く志賀町の皆さまに上水を提供してあげたい」との思いの元、復旧作業に当たりました。不安定な崩落斜面直下で常時見張員を配置しつつ余震や厳しい気象条件、通信障害等を克服しながら安全確保に努めました。

- 土砂崩壊で流域内の道路が寸断し現場に寄り付くことが困難な工事なのであらゆる手段を考えています。できる限り早く被災した方が安心な生活を取り戻せるよう、フジタ、グループ会社の総力を結集して努力いたします。

河道閉塞箇所の監視強化

- 河道閉塞箇所において、応急・緊急工事とあわせ、土砂ダム・湛水地等の状況を把握するための監視体制の強化等を実施。監視カメラ・水位計・雨量計の情報を北陸地整ウェブサイトで公開中。
- 監視カメラにより土砂ダムからの越流状況や湛水地の状況を確認、また水位計を湛水地内及び下流の流路に設置して急激な水位変化の発生が無いか、また定期的にヘリコプターやUAVによる撮影を行い、状況に変化が無いか等の監視体制を構築。

監視カメラ設置状況・映像確認

設置状況（寺地川）

カメラ映像（紅葉川（市ノ瀬））

電源・通信条件が悪い牛尾川の河道閉塞箇所に投下型水位計を投入（牛尾川：輪島市町野町）

投下型
水位計

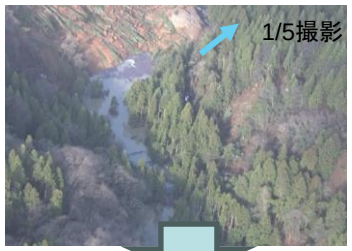
消防ヘリの協力による
投入状況（1/29撮影）

ヘリコプター・ＵＡＶによる監視

ヘリ調査実施状況

ドローン調査実施状況

紅葉川（市ノ瀬）



牛尾川

寺地川

3ヶ月の取り組み状況（河原田川（輪島市熊野町地先））

R6.3.31 時点

1月2日にヘリ調査、1月3日TEC河川調査班が調査を実施。1月29日に浸水家屋解消。出水期に向けて応急復旧実施中。

1月19日撮影

土砂崩落により河原田川で河道閉塞が発生し、上流部で家屋や道路が浸水し集落が孤立。

1月29日撮影

1月11日に河道閉塞箇所の工事着手をし、迂回水路掘削を開始。通水が完了し29日には上流部の浸水家屋が解消。

応急復旧工事実施状況

施工：鹿島建設

2月19日上流部閉塞箇所の迂回水路を従来の河川の流量が流れる幅を確保。

2月26日より下流部閉塞箇所の流木除去を実施中。

今後の予定

6月の出水期に向けて、緊急復旧で実施した水路の拡幅及び、堆積土砂の撤去を行い出水に対応した河原田川の上下流の通水断面を確保する。

出水で水路法面が崩落しないよう応急的に法面保護と下流崩落箇所にある倒木撤去を実施する。

令和6年6月までに概ね当該箇所では上下流と同等程度の通水断面を確保、令和7年3月までに復旧を完成させる。

3ヶ月の取り組み状況（河原田川（輪島市市ノ瀬地先））

国土交通省
北陸地方整備局

R6.3.31 時点

1月2日ヘリ調査、1月5～6日国総研が調査を実施。石川県による応急対策工事を受け、1月23日に国直轄施工に着手。
監視カメラ、水位計等の観測機器を設置し、土砂ダム及び湛水の状況確認を実施中。3月25日に仮設水路に着手。

1月2日被災状況

大規模土砂崩落により家屋倒壊等が発生。上流部には土砂ダムが発生（1/5-6の国総研現地調査により、既に越流し安定した状態にあり、決壊による下流への危険性が増している状況には無いことを確認）。

3月25日仮設水路に着手

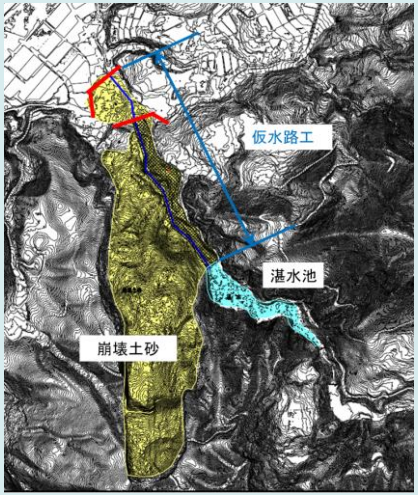
梅雨期等の降雨より、河床に堆積した崩壊土砂が、流水の浸食等で下流に被害が広がらないように、不安定な堆積土砂上を避けて、右岸側に新たに仮設水路の整備着手。
(3月25日から整地・測量等に着手)

施工：鹿島建設

今後の予定

土砂ダム上流にある湛水地からの流水を安定的に流すための仮水路を6月の出水期までに整備予定。

令和7年9月までに、崩壊した土砂の流出を防ぐための法止工・遊砂地工を完成させる。



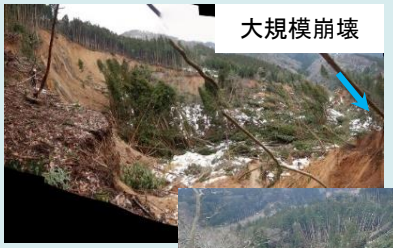
3ヶ月の取り組み状況（町野川水系（輪島市町野町））

国土交通省
北陸地方整備局

R6.3.31 時点

1月4日ヘリ調査を実施。2月6日に国直轄施工による緊急的な砂防工事に着手。監視カメラ、水位計等の観測機器を設置し、土砂ダム及び湛水の状況確認を実施中。

牛尾川被災状況・対応状況



上流で土砂ダムの発生を確認。急な決壊の恐れはないものの、状況を確認するため1／29に投下型水位計を設置、下流部に監視カメラ設置するなど観測態勢を整備。人家を守るための大型土のう設置。

今後の予定

緊急工事施工：フジタ

土砂流出による下流への被害を防止するため、6月の出水期までに、緊急工事としてブロック堰堤1基を整備予定。
土砂ダムの処理方法については検討中。

寺地川被災状況・対応状況

応急対策工事施工：清水建設

上流で土砂ダムの発生を確認。急な決壊の恐れはないものの、状況を確認するため監視カメラ、水位計を設置するなどし観測態勢を整備。人家を守るための大型土のう設置。

今後の予定

緊急工事施工：飛島建設

土砂流出による下流への被害を防止するため、6月の出水期までに、緊急工事としてブロック堰堤1基を整備予定。
土砂ダムの処理方法については検討中。

3ヶ月の取り組み状況（宝立正院海岸（珠洲市正院町～宝立町地先））

国土交通省
北陸地方整備局

R6.3.31 時点

海岸堤防が倒壊するなど甚大な被害が発生しており高潮・波浪等に対して浸水のおそれが高まっ ている宝立正院海岸について、県からの要請に基づき整備局による復旧工事を実施。

被災状況

直地区

宝立地区

直立堤・水叩き損傷

応急復旧工事実施状況

施工：五洋建設

直地区

宝立地区

堤防高確保のため袋詰め玉石や大型土のうを設置

今後の予定

4月中に緊急的な対応として海岸堤防高を確保するための応急復旧を完了予定。

また、緊急性の高い地区については袋詰め玉石および大型土のうによる仮締切の施工を行い、令和6年度上半期に本復旧着手予定。

倒壊家屋の瓦礫を処理

上戸地区

3ヶ月の取り組み状況（角間川・広地川の河道閉塞）

国土交通省
北陸地方整備局

R6.3.31 時点

能登半島地震では多くの箇所で土砂崩落による河道閉塞等が発生。そのうち、石川県管理の砂防河川角間川（珠洲市大谷町）、志賀町管理の広地川（志賀町広地）では、要請により日建連が応急対策を実施。

角間川被災状況

土砂崩落により砂防河川角間川（石川県管理）で河道閉塞が発生し、上流部で湛水が発生。下流部には浄水場があり場内に濁水が流入していたことから、1月15日に日建連に要請し応急対策を実施。

対応状況

施工：大成建設

ポンプによる強制排水、河道内の土砂・倒木撤去により2月９日に湛水状況を解消。

広地川被災状況

土砂崩落により広地川（志賀町管理）で河道閉塞が発生し、上流部で湛水が発生。下流部には浄水場もあるため、TEC-FORCEにより現地確認を行ったのち、1月6日に日建連に要請し応急対策を実施。

対応状況

施工：五洋建設

河道閉塞箇所を迂回するため排水管を敷設し、１月３１日に湛水状況を解消。

能登半島地震における土砂災害対策検討委員会（第2回） 概要

国土交通省
北陸地方整備局河川部

〇河道閉塞箇所等に対する対策工法や施設配置計画、降雨時の啓開避難等について検討するため委員会を設置。
〇第2回は現地視察を実施し、会議では対策工事や監視観測等へご意見をいただいた。

□開催日時

現地視察：令和6年3月11日（月） 11：00～15：00
会　　議：令和6年3月12日（火） 10：00～12：00

□開催場所

現地視察：輪島市市ノ瀬町地先（河原田川水系紅葉川）、
輪島市町野町地先（町野川水系牛尾川及び寺地川）
会　　議：石川県庁11F　1105会議室（WEB 併用）

□議事

（1）土砂災害の状況　（2）気象の状況
（3）対策工事の状況　（4）監視観測の状況

■各委員からの主な意見

・今後の対策工の検討や施工のために、土砂ダムの水深と湛水量、上流域の流域面積、崩壊・地すべり内の湧水状況について調査すること。
・市ノ瀬地区の仮排水路については、崩壊・地すべりからの土砂流入の影響を防ぐために、仮設水路工の下に暗渠排水管を設置して安定排水を図ること。
・土砂ダムの埋め戻しについては、地下水の影響に十分に留意した上で、排水手段を確保すること。
・どの程度の雨で、どのような規模の土砂や水が流出するかを把握するために数値シミュレーションを実施すること。

□現地視察状況

河原田川水系紅葉川

紅葉川（丸井委員長取材対応状況）

町野川水系牛尾川

町野川水系寺地川

□会議状況

港湾の緊急復旧

国土交通省

- 北陸地方の29港のうち22港で被害が発生。特に、能登地域の港湾では、港湾管理者である石川県からの要請に基づいて、1／2より七尾港・輪島港・飯田港・小木港、宇出津港・穴水港の6港において、港湾施設の一部管理を国土交通省で実施。管理を代行する内容は、「施設の点検・利用可否判断」、「応急復旧」、「岸壁の利用調整」等。

- 1／5までに水深4．5m以深の9岸壁において利用可能であることを確認。9岸壁の応急復旧を進めながら、被災地に支援物資を輸送する官民の船舶の利用調整を実施。

- 2／1、石川県、富山県、七尾市からの要請により、8港湾（七尾港、穴水港、宇出津港、小木港、飯田港、輪島港、伏木富山港、和倉港）、2海岸（飯田港海岸、和倉港海岸）及び能登空港について、大規模災害復興法の適用により、北陸地方整備局が自治体に代って本格復旧を実施することが決定。

- 2／16から輪島港において、漁船だまりの被災した漁船を移動または陸揚げするため、また、2／27から飯田港において、被災した船溜まりの機能を回復させるため、日本埋立浚渫協会北陸支部に出動を要請し、航路啓開作業を実施中。

- 国による港湾の復旧を早急に進めるため、国、石川県、七尾市、研究所及び業界団体からなる「能登半島地震被災港湾施設復旧技術検討会」を設置（2／19）して検討を行い、「能登半島等における港湾の復旧設計方針」を策定した（3／25）。本復旧工事の着手に向け、この方針に従い、各港湾施設の設計を実施中。

令和6年能登半島地震による港湾の被害概要（一部管理中の能登半島地域6港湾を除く）

■ 北陸地方整備局管内の29港湾のうち、22港湾で被害が発生。

福浦港（港湾管理者：石川県）

エプロンの液状化

半ノ浦港（港湾管理者：七尾市）

防波堤の沈下

両津港（港湾管理者：新潟県）

臨港道路の液状化

滝港（港湾管理者：石川県）

エプロンの陥没

福井港（港湾管理者：福井県）

臨港道路の液状化

金沢港（港湾管理者：石川県）

ふ頭用地の陥没

伏木富山港（港湾管理者：富山県）

臨港道路の亀裂

直江津港（港湾管理者：新潟県）

ふ頭用地の亀裂・段差

能登半島地域において被災した港湾・空港等への対応 【令和6年4月1日現在】

■ 能登半島地域では港湾全体に被害が及んでおり、石川県からの要請により、七尾港、輪島港、飯田港、小木港、宇出津港、穴水港の計6港について、1月2日以降、港湾法に基づき、国土交通省による港湾施設の一部管理を実施。

■ また、石川県、七尾市からの要請により、上記6港に和倉港を加えた計7港湾2海岸及び能登空港について、大規模災害復興法の適用により、北陸地方整備局が自治体に代って本格復旧を実施。

輪島港（最大水深7.5m、延長220m）

利用可能係留施設：1施設/1施設

【現況と対応状況】
- 地盤隆起により、岸壁水深が最大1.5m程度浅くなっている。
  →水深6mの岸壁として運用。
- 岸壁の背後に最大2mの段差が発生。
  →応急復旧（1/4）で車両のアクセス経路を確保済。
- 地盤隆起により、小型船だまりで多くの漁船が操業不能。
  →漁船の移動・陸揚に必要な水深を確保するための、啓開作業（浚渫）を開始（2/16～）。

岸壁背後の沈下（被災後）

応急復旧の状況（1/5）

浚渫作業の状況（2/16）

和倉港・和倉港海岸（最大水深3.0m、延長60m）

【現況と対応状況】
- 和倉温泉前面護岸に倒壊・傾斜が発生。
  →応急復旧で大型土嚢設置完了（3/28）。

応急復旧の状況（2/17）

七尾港（最大水深11.0m、延長260m）

利用可能係留施設：3施設/8施設

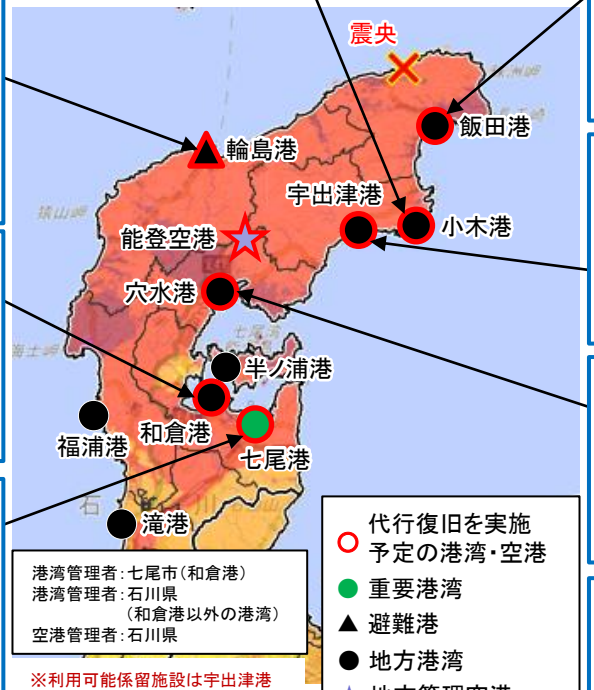
【現況と対応状況】
- 液状化の影響により、車両のアクセス経路が寸断。
  →応急復旧を実施し、車両の走行経路を確保済（1/31）。

応急復旧の状況（1/30）

小木港（最大水深5.0m、延長160m）

利用可能係留施設：5施設/5施設

【現況と対応状況】
- 一部の岸壁で、岸壁水深が最大1m程度浅くなっている。
  →当面、水深3.5m程度で運用。
- 岸壁背後に沈下（段差）が発生。
  →応急復旧が完了（3/4）し、荷役可能。



※利用可能係留施設は宇出津港と穴水港は水深4.0m以上、その他の港湾は水深4.5m以上の施設に限る

飯田港・飯田港海岸（最大水深5.5m、延長100m）

利用可能係留施設：1施設/2施設

【現況と対応状況】
- 航路内に小型船が沈没し、航行時に注意が必要。
  →貨物船が利用する泊地内の沈没船の撤去を一部完了（2/9）。引き続き、漁船たまりの航路啓開作業実施中（2/27～）。
- アクセス経路にうねりが発生。
  →応急復旧を完了（1/9）し、車両の走行経路を確保済。

防波堤の破壊（被災後）

航路啓開の状況（1/18）

宇出津港（最大水深4.0m、延長205m）

利用可能係留施設：2施設/4施設

【現況と対応状況】
- 岸壁背後に沈下（段差）が発生。
  →応急復旧が完了（3/4）し、荷役可能。

物揚場エプロン沈下（被災後）

穴水港（最大水深4.0m、延長187m）

利用可能係留施設：3施設/4施設

【現況と対応状況】
- 岸壁の傾斜及びエプロンの沈下が発生。

物揚場エプロン段差（被災後）

能登空港（滑走路延長2000m）

【現況と対応状況】
- 滑走路等を応急復旧し、民航機の運航再開（1/27）。

滑走路の状況（被災後）

輪島港岸壁の緊急復旧による災害利用

巡視艇による自衛隊給水車への給水ができるまでの4日間

国土交通省

- 1/2ヘリ調査により輪島港最大の岸壁（マリンタウン岸壁水深7.5m）に甚大な被害が無いことを確認。同日、海上保安庁が岸壁周辺の水域施設の測量を実施し、水深6m程度で利用可能なことを確認。
- **1/3～4のTEC-FORCE（国総研・中部・北陸）の陸上からの調査**により岸壁背後に大きな段差（1.5m以上）があるものの、**応急復旧により利用可能と判断**。
- 1/2 埋立浚渫協会北陸支部に出動要請し、1/3 23時頃、東洋建設が輪島港に到着。
- **1/4 早朝より地元業者の宮地組・小磯組・北都組・カミハマ土木建材の協力を受け、緊急的に隣接する港湾関連用地から掘り起こした路盤材を活用して**段差を解消するための**仮設通路を造成。**
- **1/5 8時半頃に緊急工事完了。**
- 完了後直ちに、**海上保安庁巡視艇から自衛隊給水車に給水し、輪島市内に給水活動実施**。

マリンタウン岸壁の被災状況

応急復旧工事の状況

応急復旧工事が完了し、海上保安庁巡視艇着岸

東洋建設
東山 弘氏

- 輪島に近づくにつれ、地震の惨状は増すばかり。自分に一体何ができるのかという不安、被災された方々への思い、そんな複雑な感情の中、少しでも役に立てればと、使命感を抱きながら緊急工事を無事に完了することができました。
- 余震が続く深夜の車中泊。怖さを感じながら二晩を共にし、作業に協力していただいた方々に感謝を申し上げます。

カミハマ土木建材
西見 則行氏

- 金沢から輪島に向かう道路は当初1本しかなく、自衛隊が応急対応しながら車両を通していたため、到着まで9時間を要した。崩落している箇所もあり、恐怖を感じました。
- 岸壁と陸上を結ぶ仮設通路をほぼ1昼夜で造成し、船舶からの緊急物資が無事輸送され、貢献できたと思いました。

海上保安庁巡視艇から自衛隊給水車に給水

自衛隊給水車が輪島市内へ給水活動開始

能登地域の港湾での災害支援船舶の受け入れ

国土交通省

七尾港、輪島港、飯田港の利用可能岸壁をフル稼働した災害活動支援

- 港湾管理者の要請に基づいて、1/2より七尾港・輪島港・飯田港等の6港において、港湾施設の一部管理を国土交通省で実施（～3/1）。国土交通省では、被災地に支援物資を輸送する官民の船舶の利用調整を実施し、限られた岸壁を最大限活用した。
- **1/3から七尾港で給水支援する海上保安庁の巡視艇**（巡視艇から飲料水の供給を受けた給水車が被災地に飲料水を提供）の受け入れが始まり、**1/5輪島港**でも受け入れが始まった。
- **1/4から七尾港で災害支援物資を輸送する民間船舶**の受け入れが始まり、**1/5飯田港、1/10輪島港**でも受け入れが始まった。
- **1/7からは七尾港、輪島港で災害支援活動を行う自衛隊船舶**の受け入れが始まった。**1/13から七尾港で自衛隊船舶による被災者支援活動**も始まった。
- **発災から3/1までの間、3港湾で延べ141隻の災害支援船舶**を受け入れ。**港湾、海上輸送ルートを最大限活用。**

輪島港漁船だまり航路啓開開始

国土交通省

地域の生活となりわい再開に向けた支援

- **能登半島地震**では、海底隆起といった前例のない事態が生じ、輪島港では座礁や損傷によって**身動きが取れない漁船（約200隻）が発生。**
- **漁業者より、移動が困難となっている漁船の移動（サルベージ）の支援を要望**。
- 1/9にTEC-FORCEによる陸上踏査、**1/19、20に（株）パスコによる水深調査を実施、最大約2mの隆起を確認**。
- **2/16より五洋・東亜・東洋JV、（株）喜多組が漁船の移動に必要となる航路啓開（浚渫）を開始。**

輪島港で座礁している漁船

物揚場発災前（H24.3.2撮影）

物揚場発災後（R6.1.9撮影）

TEC-FORSE
現地測量状況

浚渫作業①
グラブバケットの投入

浚渫作業②
土砂の引上げ

浚渫作業③
土砂運搬船へ投入

漁船だまり航路啓開（浚渫）状況

- 浚渫作業が「冬期作業」「狭隘な施工場所」「地盤条件が硬度地盤」等施工に困難を要すこと想定されるが、能登半島の主要産業である漁業の早期再開に向け、JV企業が一丸となって取り組んで参りたい。

- 「漁業者のニーズに応える」を合言葉に、社員一丸となって作業を行っています。
  １日でも早く漁の再開ができるように、また、漁業者が安心して出漁できる港にすることが、私たち建設業者の使命と受止めています。

令和6年能登半島地震被災港湾施設復旧技術検討会

国土交通省

北陸地方整備局管内で特に著しい被害があった石川県内のとりわけ能登半島全体の復旧・復興の促進に向け、国による港湾の復旧を早急に進めるため、国、石川県、七尾市、研究所及び業界団体からなる「能登半島地震被災港湾施設復旧技術検討会」を設置して検討を行い、今般、「能登半島等における港湾の復旧設計方針」をとりまとめた。

令和6年能登半島地震　被災港湾施設復旧技術検討会
名簿（順不同・敬称略）

	氏　名	所　属　・　役　職
有識者	横田　弘	北海道大学　名誉教授　**【座長】**
	竹信　正寛	国土技術政策総合研究所 港湾・沿岸海洋研究部港湾施設研究室長
	野津　厚	（国研）海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所 地震防災研究領域長
	小濱　英司	（国研）海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所 地震防災研究領域　上席研究官
	森川　嘉之	（国研）海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所 地盤研究領域長
	水谷　崇亮	（国研）海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所 地盤研究領域　上席研究官
	佐々　真志	（国研）海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所 地盤研究領域　動土質研究グループ長
関係団体	平井　達也	（一社）日本埋立浚渫協会北陸支部　技術委員長
	規矩　正明	（一社）日本埋立浚渫協会北陸支部　副技術委員長
	北澤　壮介	（一社）港湾空港技術コンサルタンツ協会　理事　技術調査委員長
	奥田　薫	（一財）港湾空港総合技術センター　本部審議役
行政機関	納橋　豊暢	石川県土木部　次長 兼 港湾課長
	赤坂　利勝	七尾市建設部　土木課長
	佐々木　規雄	北陸地方整備局　港湾空港部長
	美野　智彦	北陸地方整備局　能登港湾空港復興推進室長
	舟川　幸治	北陸地方整備局　金沢港湾・空港整備事務所長
	武田　均	北陸地方整備局　新潟港湾空港技術調査事務所長

検討経緯

○ **第1回検討会（令和6年2月19日）**
- 被災状況を踏まえた被災メカニズムの分析
- 復旧設計の考え方の方向性

○ **第2回検討会（令和6年3月7日）**
- 復旧設計の考え方
- 復旧設計方針（素案）

○ **第3回検討会（令和6年3月18日）**
- 復旧設計方針（案）

今後の進め方

各港湾施設の本復旧のための設計に着手

令和6年夏頃（目標）

各港湾施設の本復旧の見通しを公表予定

能登半島等における港湾の復旧設計方針　概要

国土交通省

復旧の基本的な考え方

- ○ **概ね2年以内の復旧完了**を目指す。
- ○ **被災地への支援船、復旧資材や災害廃棄物の輸送船、平時に利用していた一般船舶の利用等が阻害されない**ように**港湾利用に最大限配慮**し、各港湾で**支援船等が施設を利用**できる状況を**維持**しつつ復旧工事を行う。
- ○ **利用可能な係留施設から復旧工事に着手する場合**には、必要に応じ、**施工範囲を調整**するとともに、**段階的な施工を検討**。
- ○ 船舶の利用に**最低限必要な係留施設延長分の復旧工事が完了**した時点で**部分的に供用**することも検討。
- ○ 施設の被災メカニズムや被災の程度を踏まえ、**現地の地形、地盤条件や海象条件に適合**し、かつ、**経済的な復旧構造とする。**

等

復旧設計の考え方

- ○ **被災メカニズムや被災の程度を踏まえ、原形復旧が不可能、困難、又は、不適当な場合については、設計照査を行った上**で、復旧構造の連続性等の観点も踏まえつつ、**必要に応じて液状化等についても対策を講じる**。
- ○ **早期復旧の観点**を踏まえた**復旧スケジュール等を勘案**し、**適切な復旧工法を採用**する。
- ○ **地盤隆起が発生した輪島港、津波の襲来があった飯田港**については、被災した施設への**それらによる影響等を踏まえて検討**する。

本格的な復旧・復興に向けた体制

国土交通省

○ 令和6年能登半島地震からの復旧・復興に向けて、国が権限代行などにより行う道路・海岸・港湾・空港の本格復旧、河川砂防事業等を迅速に進めるため、**2月16日、石川県七尾市に能登復興事務所及び能登港湾空港復興推進室を設置**。

○ 本事務所、推進室では、これまで**緊急復旧の推進、本格復旧に向けた検討・調整、マスコミ・関係機関に対する現場説明、被災自治体への支援**等を実施してきたところ。

○ **4月1日には、事務所、推進室の体制を拡充**するとともに、**能登上下水道復興支援室を設置**し、被災地の復旧・復興を推進する体制をさらに強化。

緊急復旧工事の監督

市町長等との打合せ

マスコミ・関係機関に対する現場説明

令和6年能登半島地震を受けた災害復旧工事の権限代行および直轄事業の実施について

港湾
空港
海岸
砂防・河川
道路

写真⑳ 国道249号沿岸部の大規模土砂崩れ

【権限代行】
国道249号沿岸部
延長約53km

R249沿岸部地すべり対策
【国直轄施工・権限代行】

写真⑲ 町野川流域（河道閉塞）

※河川における権限代行事業、砂防の国直轄事業を実施

写真⑱ 河原田川（輪島市熊野町崩落箇所）

【権限代行】
輪島港

写真①
写真②
写真③
写真④
写真⑤
写真⑥
写真⑦
写真⑧
写真⑨
写真⑩
写真⑪
写真⑫
写真⑬
写真⑭
写真⑮
写真⑯
写真⑰
写真⑱
写真⑲
写真⑳
写真㉑
写真㉒
写真㉓

【国直轄施工】
まちの
町野川
【砂防】

飯田港
【権限代行】

すず
珠洲市

わじま
輪島市

【国直轄施工】

能越自動車道
（国管理区間）
延長約18km

のと三井IC

のとちょう
能登町

【権限代行】
小木港

【権限代行】
宇出津港

【権限代行】
珠洲市正院町～宝立町
・宝立正院海岸
・飯田港海岸
（・鵜飼漁港海岸（農水省））

かわらだ
河原田川
【河川・砂防】

E41

【権限代行等】
能登空港

さとやまくうこう
のと里山空港IC

【権限代行】

あなみず
穴水IC

【権限代行】
能越自動車道
（石川県管理区間）
延長約38km

【権限代行】
穴水港

あなみずまち
穴水町

こしのはら
越の原IC

じかまち
志賀町

よこた
横田IC

【権限代行】
和倉港

【権限代行】
和倉港海岸

とくだおおつ
徳田大津IC

とくだおおつ
徳田大津JCT

たつるはま
田鶴浜IC

【権限代行】
七尾港

ななお
七尾市

ななおじょうやま
七尾城山IC

ななお
七尾IC

にしやま
西山IC

ひみみなみ
氷見南IC

ひみきた
氷見北IC

【権限代行】
伏木富山港

たかおかきた
高岡北IC

たかおか
高岡市

たかおか
高岡IC

能越自動車道

いみず
射水市

つばたまち
津幡町

福岡PA

石川県

富山県

飯田町
正院町
上戸町
宝立町
飯田港
飯田港海岸
宝立正院海岸
鵜飼漁港海岸

写真㉑ 能越自動車道の大規模崩落

出典：国際航業株式会社ホームページ
撮影：国際航業株式会社、株式会社パスコ
至 珠洲市
至 輪島市街地
直轄事業として実施
写真① 石川県輪島市町野町曽々木

出典：国際航業株式会社ホームページ
撮影：国際航業株式会社、株式会社パスコ
至 輪島市街地
至 珠洲市
権限代行で実施
写真② 石川県輪島市渋田町

出典：国際航業株式会社ホームページ
撮影：国際航業株式会社、株式会社パスコ
至 輪島市街地
至 珠洲市
権限代行で実施
写真③ 石川県輪島市名舟町

出典：国際航業株式会社ホームページ
撮影：国際航業株式会社、株式会社パスコ
至 珠洲市
至 輪島市街地
権限代行で実施
写真④ 石川県輪島市深見町

出典：国際航業株式会社ホームページ
撮影：国際航業株式会社、株式会社パスコ
至 珠洲市
至 輪島市街地
直轄事業として実施
写真⑤ 石川県輪島市大野町

写真⑥ 輪島港（輪島市）

写真⑦ 飯田港（珠洲市）

写真⑧ 飯田港海岸

写真⑨ 宝立正院海岸

写真⑩ 小木港（能登町）

写真⑪ 宇出津港（能登町）

写真⑫ 能登空港

写真⑬ 穴水港（穴水町）

写真⑭ 和倉港（七尾市）

写真⑮ 和倉港海岸（七尾市）

写真⑯ 七尾港（七尾市）

写真⑰ 伏木富山港（射水市・高岡市）

至 金沢市
写真㉒能越自動車道の道路崩落

至 徳田大津JCT
至 七尾市街地
写真㉓ 能越自動車道の道路崩落

災害復旧工事の権限代行および直轄事業の担当事務所等

能登復興事務所
金沢河川国道事務所
能登港湾空港復興推進室

写真⑳ 国道249号沿岸部の大規模土砂崩れ

【権限代行】
国道249号沿岸部
延長約53km

R249沿岸部地すべり対策
【国直轄施工・権限代行】

写真⑲ 町野川流域（河道閉塞）

※河川における権限代行事業、砂防の国直轄事業を実施
写真⑱ 河原田川（輪島市熊野町崩落箇所）

【権限代行】
輪島港

【国直轄施工】
まちの
町野川
【砂防】

【権限代行】
飯田港

写真①
写真②
写真③
写真④
写真⑤
写真⑥
写真⑦
写真⑧
写真⑨
写真⑩
写真⑪
写真⑫
写真⑬
写真⑭
写真⑮
写真⑯
写真⑰
写真⑱
写真⑲
写真⑳
写真㉑
写真㉒
写真㉓

わじま
輪島市

すず
珠洲市

のとちょう
能登町

能越自動車道
（国管理区間・
石川県管理区間）
延長約18km

【権限代行】
珠洲市正院町～宝立町
・宝立正院海岸
・飯田港海岸
（・鵜飼漁港海岸（農水省））

かわらだ
河原田川
【河川・砂防】

のと三井IC
のと里山空港IC
穴水IC
越の原IC
横田IC
徳田大津IC
徳田大津JCT
田鶴浜IC
七尾IC
七尾城山IC
西山IC
氷見北IC
氷見IC
氷見南IC
高岡北IC
高岡IC
福岡PA

E41

【権限代行】
能登空港

【権限代行】
小木港

【権限代行】
宇出津港

【権限代行等】

【権限代行】
穴水港

【権限代行】
和倉港

【権限代行】
和倉港海岸

【権限代行】
七尾港

【権限代行】
伏木富山港

能越自動車道
（石川県管理区間）
延長約38km

あなみずまち
穴水町

しかまち
志賀町

ななおし
七尾市

たかおか
高岡市

いみず
射水市

つばたまち
津幡町

石川県
富山県

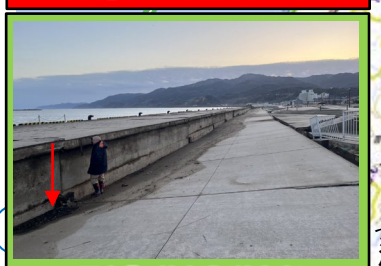
写真① 石川県輪島市町野町曽々木
直轄事業として実施

写真② 石川県輪島市渋田町
権限代行で実施

写真③ 石川県輪島市名舟町
権限代行で実施

写真④ 石川県輪島市深見町
権限代行で実施

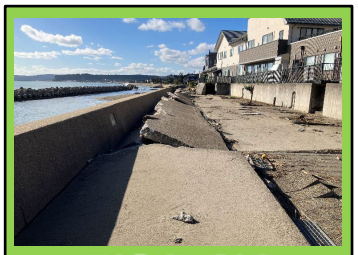
写真⑤ 石川県輪島市大野町
直轄事業として実施

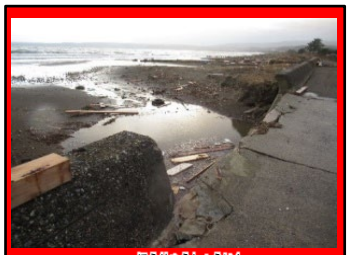

写真⑥ 輪島港（輪島市）

写真㉑ 能越自動車道の大規模崩落

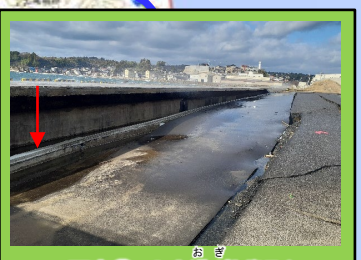
飯田町
正院町
飯田港
飯田港海岸
上戸町
宝立正院海岸
鵜飼漁港
宝立町

写真⑦ 飯田港（珠洲市）


写真⑧ 飯田港海岸


写真⑨ 宝立正院海岸

写真㉒能越自動車道の道路崩落


写真⑩ 小木港（能登町）

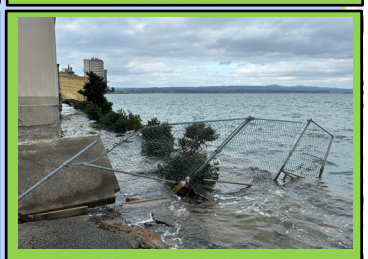
写真㉓ 能越自動車道の道路崩落

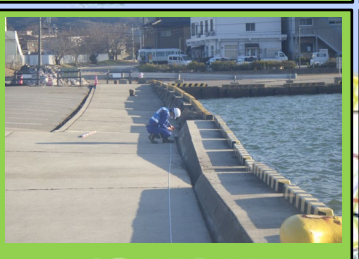
写真⑬ 穴水港（穴水町）

写真⑪ 宇出津港（能登町）

写真⑫ 能登空港

写真⑭ 和倉港（七尾市）


写真⑮ 和倉港海岸（七尾市）


写真⑯ 七尾港（七尾市）

写真⑰ 伏木富山港（射水市・高岡市）
※伏木富山港湾事務所で事業実施

北陸地方整備局本局 市町復旧・復興サポートセンター

国土交通省

○ 令和6年能登半島地震からの迅速な復旧・復興を推進するため、
2月16日に能登復興事務所及び能登港湾空港復興推進室を設置したところですが、
4月1日に両組織の体制を強化するとともに、
北陸地方整備局本局に「市町復旧・復興サポートセンター」を設置しました。

○ 本センターでは、現地の事務所等とも連携しつつ、また、WEB会議も活用しつつ、
被災自治体の復旧・復興を支援して参ります。

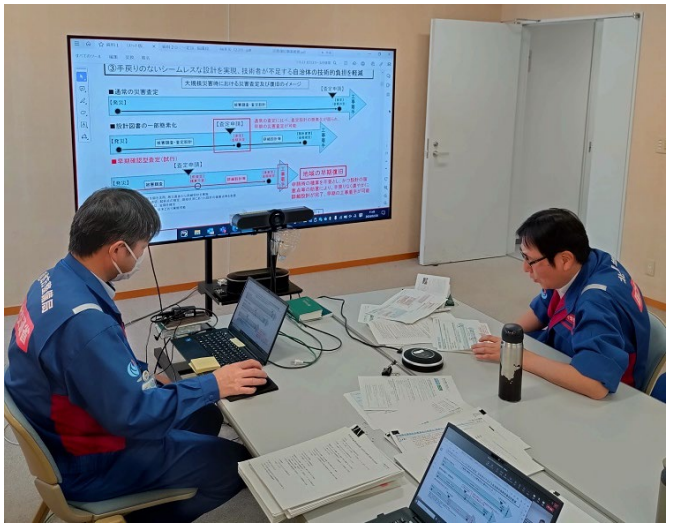
被災自治体

支援

能登復興事務所、能登上下水道復興支援室
能登港湾空港復興推進室

本局 市町復旧・復興サポートセンター

総合窓口	：災害対策マネジメント室長
上下水道の復旧	：上下水道調整官
復興まちづくり	：都市調整官
住まいの復興	：住宅調整官
公共建築	：公共建築相談窓口
道路の点検・復旧	：道路保全企画官
河川の点検・復旧	：地域河川調整官
港湾の復旧	：港湾危機管理官



WEB会議により、被災自治体職員に災害復旧申請に関する助言をしている様子

多くの建設業者、協定団体等に支援をしていただきました

➢ 地元の建設業者に加え、他県の建設業者や災害協定団体※等に、被災した現地において多くの支援をしていただきました。

※ 災害協定により活動いただいた団体

- 一般社団法人日本建設業連合会
- 一般社団法人建設コンサルタンツ協会
- 一般社団法人全国地質調査業協会
- 一般社団法人全国測量設計業協会
- 一般社団法人日本建設機械施工協会
- 一般社団法人建設電気技術協会
- 一般社団法人日本埋立浚渫協会
- 一般社団法人日本潜水協会
- 一般社団法人海洋調査協会
- 一般社団法人日本道路建設業協会
- 一般社団法人日本補償コンサルタント協会
- 一般社団法人PC建設業協会
- 一般社団法人新潟県建設業協会
- 一般社団法人富山県建設業協会
- 一般社団法人石川県建設業協会
- 一般社団法人長野県建設業協会
- 一般社団法人港湾空港技術コンサルタンツ協会
- 北陸港湾空港建設協会連合会
- 一般社団法人日本建設機械レンタル協会
- 一般社団法人新潟レンタカー協会
- 一般社団法人富山レンタカー協会
- 一般社団法人石川レンタカー協会
- イオン(株)
- 富士タクシー(株)
- (株)冨士タクシー
- 北陸地方防災エキスパート

奮闘する地元建設業（石川）

- 県道・市道・町道の道路啓開等の緊急工事では、日建連各社のほか、石川県建設業協会等の地元建設業者が地域の守り手として全力で実施。
- 被災地である能登地域の建設業者は自らが被災者でありながら道路啓開等の緊急工事に従事。加えて、能登地域以外の地区協会（金沢や加賀など）からローテーションを組んで複数班（最大25班／日）が能登地域の緊急工事に従事。オール石川の総力戦で能登地域の復旧にあたる。

「ふるさとを何とかしたい熱意で、被災した会社や人たちが働いている。言葉にできないほどの感謝。」

（石川県建設業協会長　談）

【被災地の建設業者の活動例】
- 自宅が住めなくなり、避難所から日々現場に通う
- 通常は道路啓開に従事、雪が降り除雪車が稼働する際には除雪車のオペレーターとして従事

【金沢・加賀等の建設業者の活動例】
- 2泊3日でローテーションしながら現地作業
- 現地で車中泊・自炊をしながら現地作業時間を最大化する工夫
- 現地に入れた重機を引き継ぎながら工事を継続

【石川県建設業協会の主な災害対応】
① 道路啓開等の緊急工事
② 救援物資（飲料水、給水タンク、ブルーシート等）の調達・輸送
③ 復旧資材（砕石、土嚢等）の調達・輸送

奮闘する地元建設業（石川）

国土交通省
北陸地方整備局

【活動企業】
■（一社）金沢建設業協会
IMK㈱、アキュテック㈱、石川建設工業㈱、加賀建設㈱、加州建設㈱、㈱金沢舗道、㈱河内組、北川建設㈱、北川ヒューテック㈱、木野建設㈱、協和道路㈱、小西建設㈱、㈱駒津組、㈱小山組、金剛建設㈱、㈱犀川組、酒井工業㈱、沢田工業㈱、三友工業㈱、島屋建設㈱、施友建設㈱、小路建設㈱、城北建設㈱、鈴木建設㈱、大三建設㈱、大日土建㈱、大盟建設㈱、㈱高田組、㈱竹松組、辰巳建設㈱、辰村道路㈱、東南建設㈱、㈱豊蔵組、中居建設㈱、西川建設㈱、日本海建設㈱、ﾊｲｳｴｲ・ﾘﾊﾞｰｽﾒﾝﾃﾅﾝｽ㈱、㈱ピーエス三菱金沢営業所、㈱平田組、邦和建設㈱、㈱北都組、北陸地建㈱、北興建設㈱、真柄建設㈱、丸建道路㈱、㈲丸勝建設、丸善建設㈱、㈱明翫組、吉田道路㈱、毎田建設㈱、㈱土田工建、㈲改建工業、田上建設㈱、東機工業㈱
■　（一社）加賀建設業協会
小川建設㈱、㈱加賀土石建設、㈱加南土木、北浜建設㈱、小酒建設㈱、伸光建設㈱、小中出建設㈱、山海建設㈱、㈲治下組、㈲田畑建設、㈱長沢組、㈱ミヤジマ建設、㈱向出組、㈱山組、㈱三和建設、㈲宮本土木、ダイド建設㈱、西山建設㈱、久保田土建、東野建設㈱、㈲宮川組
■　（一社）小松能美建設業協会
一松建設㈱、石川舗道㈱、㈱江口組、加越建設㈱、㈱鍵谷建設、㈱亀田組、㈱澤木組、誠和建設㈱、太陽工業㈱、高藤建設工業㈱、中島建設㈱、丸信建設㈱、㈱丸西組、本建設工業㈱、㈲八幡土建、㈲山岸組、㈱山本組（孝）、㈱山本組（正）、山本建設㈱、横山建設㈱、㈱吉光組、石川建設㈱、㈱北森建設、五座建設㈱、㈱白原組、灰田建設㈱、東建設㈱、堀川建設㈱、㈲明峰建設、㈱田中建設、丸中建設㈱
■　（一社）白山野々市建設業協会
㈱新井組、（有）石原建設工業、上野建設㈱、㈱加賀土木、（有）加賀野工業、㈱風組、㈱加藤建設、㈱河合組、㈱川崎組、北川土木㈱、北田土建㈱、㈱北野組、㈱木村組、㈱共和建設、㈱慶伊組、小山工業㈱、㈱酒谷組、㈱佐藤組、㈱下川組、（有）秀和建設、㈱松陽建設、竹腰永井建設㈱、拓土土建㈱、辰野建設工業㈱、（有）谷口建設、㈱辻組、㈱豊商、㈱中田組、㈱西工建、㈱西山産業、㈱日豊技研、㈱野々市工建、白山建設㈱、㈱橋爪組、㈱久盛建設工業、㈱フジタ、　㈱フジタ土木開発、㈱フタクチ、㈱ペイブ、（有）細川建設、㈱堀建設、前多産業㈱、㈱升方工務店、㈱松建、㈱ミキオ建設、水島建設㈱、みのり建設㈱、㈲向工業、㈲明清建設、㈱山﨑組、㈱ヨネミツ、㈱ロードワークス、和興建設㈱
■　（一社）河北郡市土建協同組合
㈱石川建設、㈱大可組、大矢建設㈱、オカノ㈱、㈱表組、㈱表井建設、㈱河北土木サービス、㈱久保建材工業、㈱麝香重機建設、㈱砂山組、大幸建設㈱、㈱滝川組、タタミ建設㈱、㈱茶谷組、㈱中和建設、㈱津幡工業、中居土建㈱、㈱中農組、中本建設㈱、㈱西島組、㈱狭間工業、㈱長谷川建設、㈱堀田建設、森田建設㈱、㈱山田組、㈱大河組、㈱表井建設、㈱河北土木サービス、タタミ建設㈱
■　（一社）羽咋郡市建設業協会
小倉建設㈱、池田建設工業㈱、石田工業㈱、㈲一松建設、
㈱稲岡、㈱稲岡建設、㈲井上工務店、今井建設㈱、㈱大窪工務店、岡田建設工業㈱、小倉緑化工業㈱、㈲三明建設、勝二建設㈱、㈱須磨工務店、盛進工業㈱、大和建設㈱、㈱高嶋工務店、滝田建設㈲、㈲田端建設、寺井建設㈱、寺沢組、富山土建㈱、西村建設㈱、林谷産業㈱、平野建設㈱、㈱古永建設、松谷建設㈱、南建設㈱、村中組、守田工業㈱、㈱米木工務店、畑山興建㈱、志賀興業建設㈱、㈱青山運送、免田産業㈱、木戸建設㈱、中建設㈱
■　（一社）七尾鹿島建設業協会
アオイ建設㈱、石丸工業㈱、姥浦建設㈱、浦谷建設㈱、壁屋建設㈱、㈱川田組、㈱環境企業シミズ、協明建設㈲、㈲小崎川建設、㈲米谷組、㈱沢野組、㈱シラヤマ、㈱清水造船建設、㈱昭栄建設、㈲新盛、㈱杉本工務店、㈱千場建設、㈲高田建設、㈱田村工業、㈱戸田組、㈱徳政組、ナナオ土建㈱、㈱林組、㈲平石工業、㈲古木重機、巻建設㈱、㈲丸田建設運輸、㈱丸田組、名誠㈱、㈲森組、㈱ 山口、㈱山崎建設、和田内潜建㈱
■　（一社）鳳輪建設業協会
㈱青木産業、㈱入勢建設、㈱上田組、㈱上野組、㈱浦建設、㈱浦建設、㈲SIC、大石建設、㈱鼎建設、㈲釜谷建設、㈱喜多組、㈲木村建設、㈱協建設、㈲共栄建設、蔵谷工務店㈱、㈲小磯組、㈲坂下舗道、㈱坂下、㈱里谷組、松風舎、昭和建設㈱、伸栄建設㈱、㈱新出組、鈴平建設㈱、須美矢建設㈱、スリースロープ開発㈱、㈲清廣園緑化、大東建設㈱、㈲田方組、㈲高安重機、㈱宝建設、㈱田中組、玉木運送㈱、㈱辻組、㈱蔦土木、㈲釣谷組、寺西建設㈱、㈱東井組、刀祢建設㈱、刀祢工務店、能登舗道㈱、㈲能都左官、畠中建設㈱、八ケ組、花井建設、藤田建設運送㈲、札木建設、㈱船本建設、北能産業㈱、㈲千場重機建設、㈱摩郷、㈲松木産業、三浦建設㈱、㈲宮口建設、㈱宮地組、宮下建設㈱、㈱モアグリーン、森土木工業㈱、㈲森忠建設、柳田建設㈱、㈲山崎工務店、山下建設㈱、㈲山本組、㈱ランドスケープ開発、六郎木建設㈱、㈲渡瀬建設、㈱ビューテクサービス、四辻管工業㈱、㈲堂坂建設、㈲能登電業社
■　（一社）珠洲建設業協会
㈱アメニテイ、㈱鍛治建設、㈲共栄建設、㈱グリーンテック、㈱三百苅管工、三和建設㈱、㈱サンテック、㈲新出組、㈲脊戸組、㈱大樹工建、㈱谷口建設、㈱田中建材、㈱中塚組、㈱西中建設、能登建設 ㈱、のとさく、㈱橋本建設、林舗道㈱、㈲プレイスワ-ク、㈱平蔵建設、㈱丸中組、㈱森井組、㈱門寺建設、㈱わかみや建設、㈲和光建設、興信工業㈱、西田組、中市建設

災害協定団体の活動状況

新潟県建設業協会
富山県建設業協会
長野県建設業協会

国土交通省
北陸地方整備局

- 市町からの要請に基づき、石川の地元建設業を補完する形で、新潟及び富山県の建設業協会が道路段差解消等の緊急工事にあたる。
- この他、富山及び長野県建設業協会が救援物資・復旧資材等（飲料水、ブルーシート、三角コーン、砂、砕石など）の調達・輸送を担う。

道路の段差解消作業

物資輸送

隣県建設業者の思い

大きな災害の時にはお互い様の精神で、自らの地域を守るような気持ちで災害対応に当たっています。
以下、支援活動した建設業者から寄せられたコメントです。

支援に当たっている際、地元の方より「近所のスーパーが明日から営業再開」と聞いたので、周辺道路を徹底的に補修し、安全に買い物に行けるように努めました。
（株）ユアネクス：富山県建協

変わり果てた町並みに言葉を失いました。その中でも必死に生活する地元の方々を見て、私達は微力ではありますが精一杯の協力をさせていただきました。
（株）日本海建興：富山県建協

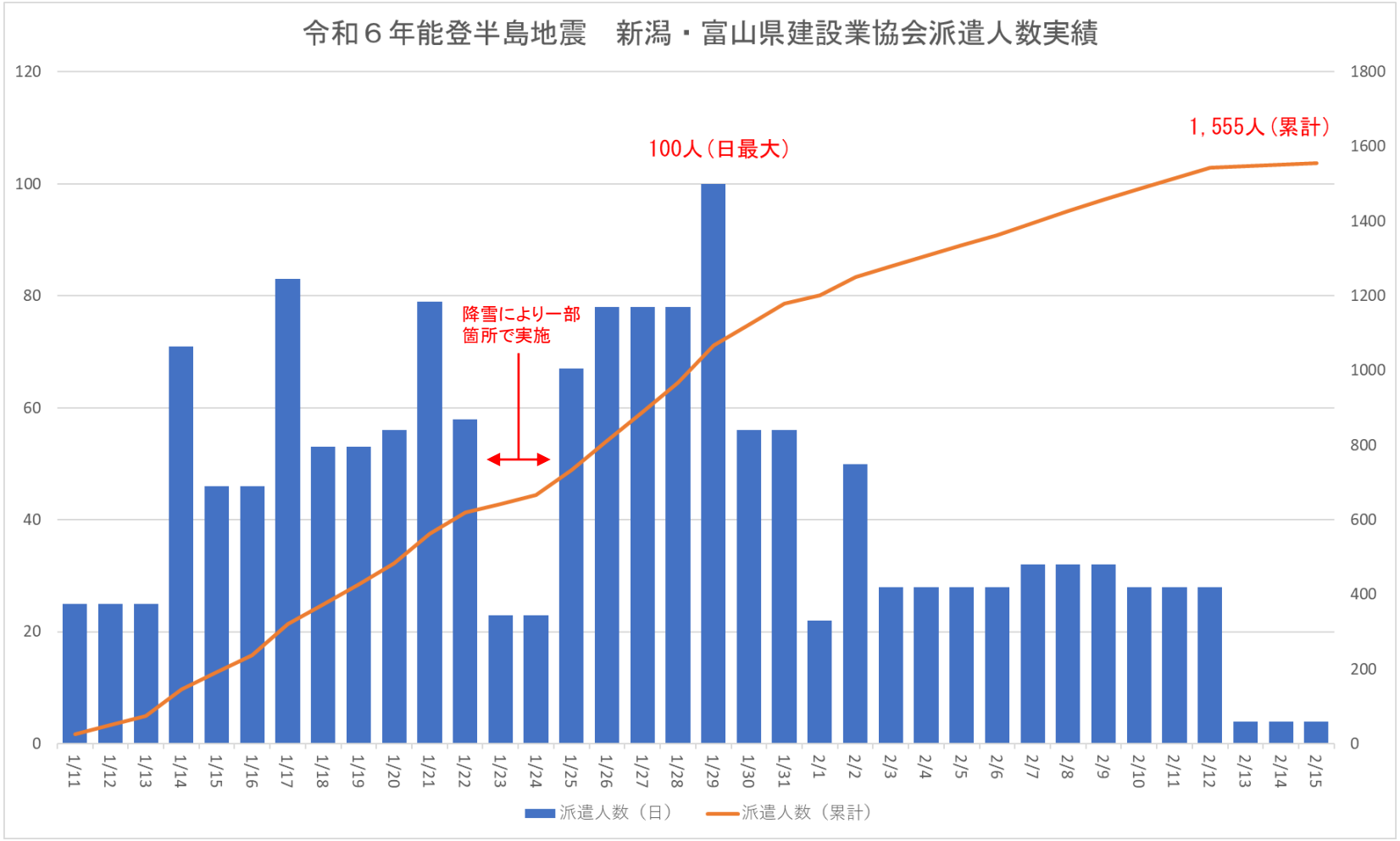
作業中に地元の方から「珠洲のためにありがとうございます」という言葉をいただきました。現場は気温が低く体は寒いですが、心はとても暖かくなりました。
射水工業（株）：富山県建協

積雪があり厳しい作業環境ですが、一日でも早く地域の皆さんが利用できるように頑張ります。
（株）笠原建設：新潟県建協

【活動企業】
■新潟県建設業協会
(株)曙建設、(株)伊藤建設、(株)植木組、(株)大石組、(株)大島組、(株)笠原建設、(株)笹川建設、創和ジャステック建設(株)、(株)多田組、(株)谷村建設、(株)中越興業、長岡舗道(株)、丸高建設(株)、(株)源建設
■富山県建設業協会
朝野工業(株)、朝日建設（株)、安達建設（株)、アルカスコーポレーション(株)、伊藤建設（株)、伊野建設(株)、射水工業（株)、大高建設(株)、太平建設工業（株)、(株)岡部、喜興建設（株)、共和土木(株)、酒井建設(株)、桜井建設(株)、笹嶋工業(株)、昭和建設(株)、新栄建設(株)、(株)関口組、高尾建設(株)、高新工業(株)、(株)高田組、中越興業(株)、辻建設(株)、(株)東城、砺波工業(株)、日本海建興(株)、野沢工業(株)、(株)飯作組、廣川建設工業(株)、(株)深松組北陸支店、(株)藤井組、(株)婦中興業、分宮工業(株)、松嶋建設(株)、水新建設(株)、(株)森長組、(株)ユアネクス

新潟県・富山県建設業協会による道路補修

➢ 新潟県建設業協会、富山県建設業協会が多くの人員を被災地に派遣し、道路補修に当たりました。



災害協定団体の活動状況　日本建設業連合会

- 地震発災直後の1月2日から、道路啓開等の緊急工事に従事。累計32班12社により、国道249号沿岸部、能越自動車道等、また県道・市道・町道等のライフラインの復旧関連路線において、24時間体制で緊急復旧にあたる。
- 地震による河道閉塞、土砂災害発生箇所等の緊急対応のため、1月23日から随時工事に従事。12地区8社体制により、輪島市河原田川、町野川水系の河道閉塞、国道249号沿岸部等の地すべり対策、珠洲市宝立正院海岸の倒壊した海岸施設等の緊急工事にあたる。

道路啓開　緊急工事

河道閉塞箇所 緊急工事

地すべり地区　緊急工事

海岸施設　緊急工事

【活動企業】
・(株)安藤・間　・(株)熊谷組　・清水建設(株)　・大成建設(株)　・(株)大林組　・前田建設工業(株)　・鹿島建設(株)
・西松建設(株)　・佐藤工業(株)　・東急建設(株)　・五洋建設(株)　・戸田建設(株)　・飛島建設(株)　・(株)フジタ

日本建設業連合会の現地活動

- 能登地域の建設業者が被害者になって通常の力を発揮できないという状況を勘案して、地元建設業各社が県や市町の管理施設の緊急復旧に注力できるように配慮し、日建連各社は石川県外の協力会社やダンプを活用。
- また、発災直後からしばらくの間、宿泊拠点から現場までの移動時間が相当な時間を要したことから、24時間施工を4班体制で実施したり、車中泊で現場に泊まる等の工夫を行いながら緊急工事にあたった。

【日建連各社の奮闘例】

- 1/2～4の輪島市・珠洲市への道路啓開は救急救命の時間との闘いであったため、3日間は寝ずにやった。
- 1月は無我夢中でやった。今振り返ると、あまり記憶に残っていない。（3月聞き取り）
- 宿泊拠点から現場までの移動時間を踏まえ、24時間施工を4班体制（昼夜2班を1日毎に交代（長時間移動のために作業の翌日を休ませる））でしのいだ。
- 長時間移動を踏まえ、当初車中泊で対応、後にキャンピングカーを導入して現地で宿泊した。
- 現地拠点にバイオマストイレ、仮設ユニットシャワーを持ち込んで現地作業体制を構築した。
- スターリンクを持ち込みインターネット通信を確保し、後方支援チームと情報連絡を図りながら日々の現場状況に応じた施工を迅速に対応した。
- 近隣で燃料調達が困難であったことから、富山県協力会社からミニローリーで重機燃料を確保した。

災害協定団体の活動状況　日本道路建設業協会

- 国道249号の権限代行区間とそこまでのアクセス道路（県道6号、272号、277号の3路線）において、路面補修と拡幅工事を実施中。
- 砕石などの資材の運搬を担う。

国道249号
輪島市長井町～門前町西円山地内

国道249号
輪島市大野町～長井町地内

国道249号
輪島市門前町浦上地内

国道249号
輪島市深見町～白米町地内

県道6号
輪島市町野町地内

県道272号
珠洲市大谷町～若山町地内

県道277号
能登町柳田地内

【活動企業】　・(株)ガイアート　・日本道路(株)　・大成ロテック(株)　・鹿島道路(株)　・丸建道路(株)　・(株)NIPPO
・北川ヒューテック(株)　・(株)佐藤渡辺　・世紀東急工業(株)　・前田道路(株)　・(株)加賀田組　・福田道路(株)
・本間道路(株)　・(株)植木組　・丸運建設(株)

災害協定団体の活動状況　建設コンサルタンツ協会北陸支部

国土交通省
北陸地方整備局

道路の調査・設計支援

➢ 地震による被害の拡大防止と被災施設の早期復旧に向けて、建設コンサルタンツ協会北陸支部が、応急対策を実施するための調査・設計等を実施。

国道249号（輪島市大野町）

国道249号（輪島市深見町）

国道249号（輪島市門前町西円山）

のと里山海道　能登大橋

国道249号（輪島市門前町浦上）

国道249号烏川大橋（珠洲市馬緤町）

【活動企業】
・エヌシーイー（株）　・開発技建（株）　・大日本ダイヤコンサルタント（株）　・日本工営（株）　・パシフィックコンサルタンツ（株）　・（株）構造技研新潟
・（株）国土開発センター　・（株）長大　・東京コンサルタンツ（株）　・（株）東洋設計　・（株）日本海コンサルタント　・八千代エンジニヤリング（株）
・（株）アルゴス　・アルスコンサルタンツ（株）　・五大開発（株）　・（株）上智　・北陸コンサルタント（株）　・（株）プラネット・コンサルタント　・朝日航洋（株）
・国際航業（株）　・（株）パスコ

災害協定団体の活動状況　建設コンサルタンツ協会北陸支部

国土交通省
北陸地方整備局

TEC-FORCE 被災状況調査を支援

（一社）建設コンサルタンツ協会 北陸支部との災害協定を活用し、被災した7市町管理の構造物（橋梁・トンネル）について専門的な見地から緊急点検を実施し、TEC-FORCE被災状況調査を支援。

位置図（調査箇所）

緊急点検の結果、点検前からの通行止めを含めて橋梁35橋、トンネル3本の通行止めを実施し、通行の安全性を確保

自治体担当者との打合せ（七尾市役所）

橋梁点検状況（珠洲市宝立町）

トンネル点検状況（輪島市輪島崎町）

緊急点検の結果を市町担当者へ説明し、調査報告書を手交しました。（3月5日～6日）

珠洲市担当課長へ手交

能登町担当課長へ手交

輪島市担当課長への説明状況

穴水町担当者への説明状況

七尾市担当者への説明状況

中能登町担当者への説明状況

志賀町担当者への説明状況

【活動企業】
- （株）日本海コンサルタント
- （株）国土開発センター
- アルスコンサルタンツ（株）
- （株）東洋設計
- （株）プラネットコンサルタント
- 五大開発（株）
- ナチュラルコンサルタント（株）
- 東京コンサルタンツ（株）

災害協定団体の活動状況

砂防、河川、海岸等の調査支援

建設コンサルタンツ協会北陸支部
全国地質調査業協会連合会北陸地質調査業協会

国土交通省 北陸地方整備局

➢ 地震による被害の拡大防止と被災施設の早期復旧に向けて、建設コンサルタンツ協会北陸支部、全国地質調査業協会連合会北陸地質調査業協会が、災害応急対策を実施するための測量・調査・設計等を実施。

北陸地方整備局との協定に基づく調査活動会社

建設コンサルタンツ協会北陸支部

アジア航測（株）	調査設計
（株）エイト日本技術開発	調査設計
エヌシーイー（株）	調査設計
応用地質（株）	調査設計
開発技建（株）	調査設計
（株）開発技術コンサルタント	調査設計
川崎地質（株）	調査設計
（株）国土開発センター	調査設計
（株）東洋設計	調査設計
ナチュラルコンサルタント（株）	調査設計
（株）日本海コンサルタント	調査設計
日本工営（株）	調査設計
八千代エンジニヤリング（株）	調査設計

※五十音順

全国地質調査業協会連合会北陸地質調査業協会

（株）エオネックス	地質
興信工業（株）	地質
中部地質（株）	地質
能登建設（株）	地質
（株）のとさく	地質

※五十音順

砂防

【輪島市町野町地区】
牛尾川　河道閉塞状況

海岸

【珠洲市正院・直地区】
宝立正院海岸護岸・水叩き損傷状況

河川

【輪島市熊野町地区】
河原田川　河道閉塞状況

地すべり

【珠洲市清水町地区】
R249　地すべり崩壊状況

「河川」「海岸」「砂防」「地すべり」それぞれの地区において活動中

災害協定団体の活動状況

全国地質調査業協会連合
北陸地質調査業協会

国土交通省
北陸地方整備局

➢ 地震による被害の拡大防止と被災施設の早期復旧に向けて、全国地質調査業協会連合会
北陸地質調査業協会が、応急対策を実施するための調査を実施。

能越自動車道　のと里山空港IC～穴水IC間

国道249号（輪島市野田町）

国道249号　中屋トンネル付近

【活動企業】
・(株)石川地質コンサルタンツ　・(株)エオネックス　・(株)カナイワ　・興信工業(株)　・中部地下開発(株)　・中部地質(株)　・(株)日研技術
・古一地下開発(株)　・(株)ホクコク地水　・北海技建(株)　・(株)アーキジオ　・共栄興業(株)　・ (株)興和　・三和ボーリング(株)　・ダイチ(株)
・(株)村尾地研

災害協定団体の活動状況

全国測量設計業協会連合会 北陸地区協議会

国土交通省 北陸地方整備局

➢ 地震による被害の拡大防止と被災施設の早期復旧に向けて、全国測量設計業協会連合会北陸地区協議会が、応急対策を実施するための調査を実施。

能越自動車道　本線上（のと三井IC～穴水IC間）

能越自動車道のと三井IC近く

輪島市内石休場町付近

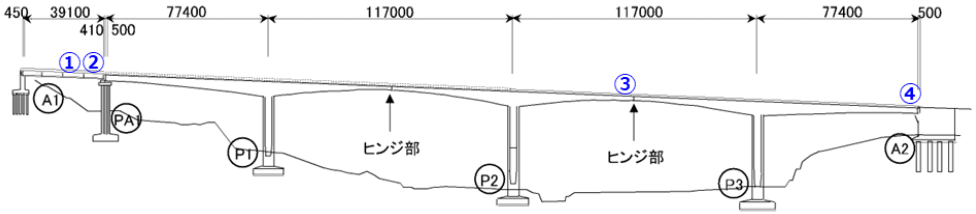
【活動企業】
・(株)旭　・石川都市開発(株)　・(株)北日本ジオグラフィ　・(株)SKプランニング　・(株)地域みらい　・(株)テクノマップ　・(株)鳥越　・ナチュラルコンサルタント(株)
・日本海航測(株)　・羽咋測量設計(株)　・(株)利水社

災害協定団体の活動状況 プレストレスト・コンクリート建設業協会

国土交通省 北陸地方整備局

➢ 地震による被害の拡大防止と被災施設の早期復旧に向けて、プレストレスト・コンクリート建設業協会が、能登大橋（のと里山海道 穴水IC～越の原IC間）の緊急復旧にあたる。

【能登大橋 L=430m】 側面図



＜被災状況＞

①A1～PA1（G6桁PA1端部）
耳桁の損傷

②A1～PA1（G5桁）
支承の損傷

③P2～P3 ﾋﾝｼﾞ部
ｺﾝｸﾘｰﾄの損傷

④A2橋台 箱桁端部ｻｲﾄﾞﾌﾞﾛｯｸ
横変異装置の損傷

A1橋台 竪壁部 鋼材H200設置状況

P1～P2間（ヒンジ部）
落下防止ネット設置状況

A1橋台 支承部 間詰鉄板設置状況

鋼材H200設置状況

落下防止ネット設置状況

1車線確保後 通行状況（3月15日）

【活動企業】 三井住友建設（株）

港湾での災害協定団体による活動状況

国土交通省

○（一社）日本埋立浚渫協会が被災各港において緊急復旧工事を実施

輪島港　岸壁緊急復旧
東洋建設㈱

飯田港　啓開作業
五洋建設㈱

伏木富山港　臨港道路緊急復旧
若築建設㈱・東亜建設工業㈱

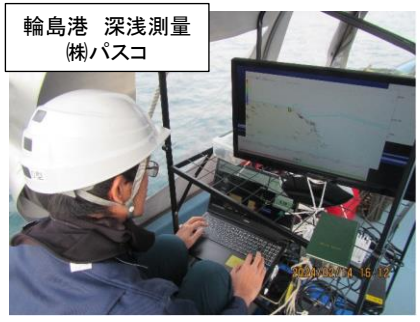
直江津港 岸壁緊急復旧
㈱本間組

■(一社)日本埋立浚渫協会
【活動企業】※五十音順
あおみ建設(株)、(株)大本組、五洋建設(株)、東亜建設工業(株)、東洋建設(株)、(株)不動テトラ、(株)本間組、みらい建設工業(株)、りんかい日産建設(株)、若築建設(株)

○（一社）日本潜水協会、（一社）海洋調査協会、（一社）港湾空港技術コンサルタンツ協会が港湾施設調査を実施

飯田港　潜水目視調査
㈱日本海潜水サービス

輪島港　深浅測量
㈱パスコ



七尾港　空洞調査
㈱いであ

小木港　構造物調査
㈱日本港湾コンサルタント

■(一社)日本潜水協会
【活動企業】※五十音順
新潟潜水興業(株)
(株)日本海潜水サービス

■（一社)海洋調査協会
【活動企業】※五十音順
いであ(株)、(株)北日本ジオグラフィ、
(株)パスコ、(株)平成測量

■（一社)港湾空港技術コンサルタンツ協会
【活動企業】※五十音順
(株)エコー、日本工営(株)、(株)日本港湾コンサルタント、日本シビックコンサルタント(株)、(株)ニュージェック、(株)パシフィックコンサルタンツ

災害協定団体の活動状況　日本補償コンサルタント協会

- 災害協定に基づき、日本補償コンサルタント協会北陸支部が、登記簿調査及び公図調査等の法務局調査を進めるとともに、迅速に用地取得等を行うための用地図等の作成を実施。
- 河道閉塞した河原田川（輪島市熊野町地先）の復旧工事のため、物件調査を実施。

【活動例：物件調査】

- 復旧工事の施工に支障となる物件について、移転補償金算定のため、現地において調査を実施。

【活動企業】

（一社）日本補償コンサルタント協会北陸支部
（株）SIC桑原、（株）国土開発センター、（株）上智、新潟県上越国土測量（株）、（株）日本海コンサルタント　※五十音順

災害協定団体の活動状況　建設電気技術協会

国土交通省

- 道路状況の確認や河道閉塞等の監視ため、（一社）建設電気技術協会 北陸支部から電気通信技術者を派遣いただき、必要とする機材の調達、運搬、設営等を含めて、現地被災状況の監視体制を構築
- これらの監視映像は初動時の「衛星通信回線」から「通信事業者回線（LTE等）」を駆使した機器へ順次移行、自治体を含む関係機関へ２４時間配信

モバイル映像伝送装置による道路状況配信

モバイル映像伝送装置による河道閉塞監視

臨時電力の引き込み

日々の巡回点検

【現地作業者からの声】

・各所が被災している中、のと里山空港での電源、トイレ等の機能維持が、活動拠点として非常にありがたく、助かりました。
　災害時の拠点となりうる強固なベース（インフラ機能維持）の必要性を強く感じました。

・辺りがどんどん暗くなっていく中、設置場所の案内等で来られた県職員の方も、運搬や配線を手伝っていただき、無事に運用開始ができ、たいへん助かりました。

・現地作業に際し、地元企業の方々が、作業車の駐車他、トイレの使用等多くのご配慮を頂きました。支え合いの重要性を痛感しました。

【協会支部活動企業　8社】 ※五十音順
（株）イートラスト、 クシヤ（株）、 （株）ケーネス北陸支店、 日本海電業（株）、 富士通（株）、 （株）ほくつう、
三菱電機システムサービス（株）北陸支店、 （株）有電社北越支店

災害対策用機械の現地活動を支えた協力事業者の皆様

国土交通省
北陸地方整備局

○各種災害対策用機械による夜間照明、電源支援、排水作業、給水支援等を実施

照明車による夜間作業支援（道路啓開）

散水車による給水支援

ランドリー車への給水作業

排水ポンプ車による排水作業

○災害対策用機械の運搬・操作　（順不同）
（株）本間組、（株）新潟藤田組、丸運建設（株）、（株）加賀田組、（株）福田組、（株）皆川組、
（株）大島組、道路技術サービス（株）、朝日建設（株）、松嶋建設（株）、松原建設（株）、
（株）婦中興業、ケミコリバイブ（株）、川原工業（株）、北陸ハイウェイ建設（株）、小林建設（株）、
（株）林土木、辻建設（株）、（株）今村組、（株）高田組、射水工業（株）、竹沢建設（株）、
梅本建設工業（株）、（株）干場建設、（株）東城、日本海建興（株）、丸新志鷹建設（株）、
高尾建設（株）、北陸パブリックメンテナンス（株）、小柳建設（株）、大河津建設（株）、
伊米ヶ崎建設（株）、（株）永井工業、（株）村山土建、川中島建設（株）、飯島建設（株）、
（株）フカサワイール、（株）栗木組、藤川建設（株）、新栄建設（株）、（株）府録組 、
（株）丸西組、中島建設（株）、日本通運（株）新潟支店、日本キャタピラー（合）新潟営業所、
山室重機（株）、田中産業（株）、相村建設（株）、大陽開発（株）、（株）武江組

※他の整備局から応援いただいている協力業者については現在集計中

○災害対策用機械の現地整備　（順不同）
【（一社）日本建設機械施工協会　北陸支部】
千代田機電（株）、（株）三越、（株）山崎サービス

◆他地整からの応援車両（速報値※）（台）

	他地整	北陸	合計
照明車	50	33	83
散水車	20	2	22
待機支援車	28	4	32
その他	8	4	12
計	106	43	149

※変動となる場合があります

待機支援車による水道復旧従事者の宿泊支援等

北陸地方整備局の各種活動を支えていただいている協力事業者

➢ TEC-FORCEやリエゾンの派遣のための車両の手配・運転、支援物資の運搬、災害対策車両への給油等、様々な後方支援活動にご協力いただいています。

■Car-SAT派遣（運転）

・日本道路興運(株)新潟支店

■TEC-FORCE派遣（運転）

・日本道路興運(株)新潟支店・長野営業所・金沢支店
・(株)冨士タクシー(石川県)

■待機支援車による支援物資の運搬・配送

・日本通運(株)新潟支店

■災害対策車両等への給油

・JAのと 穴水SS・(株)舞谷商店ENEOSニュー穴水SS
・内浦町農業協同組合・丸一石油(株)
・日本BCP(株)・JAのと 珠洲燃料センター

■TEC-FORCE・リエゾン派遣（レンタカー運転）

・富士タクシー(株)(新潟県)
・(株)冨士タクシー(石川県)

■TEC-FORCE・リエゾン派遣車両（レンタカー）

○新潟県
・一般社団法人　新潟県レンタカー協会
・ニッポンレンタカー新潟(株)
・(株)トヨタレンタリース新潟
・(株)マツダモビリティ新潟
○富山県
・富山県レンタカー協会
・(株)トヨタモビリティ富山
・オリックス・レンタカー北陸(株)
○石川県
・石川県レンタカー協会
・オリックス・レンタカー北陸(株)
・(株)トヨタレンタリース石川
・ニッポンレンタカー北陸(株)

（順不同）

協定団体の活動　北陸地方防災エキスパート（事務局：(一社) 北陸地域づくり協会）

国土交通省
北陸地方整備局

- 北陸地方防災エキスパートが、被災自治体での国土交通省職員によるリエゾン活動を補助、道路啓開活動や河道閉塞対策の技術的助言等を支援。
- 直轄施設の被災現場に係る復旧工法の技術的助言等を支援。
- 石川・富山・新潟3県各地で、1月1日から2月29日までの間にのべ152人日が活動。

TEC-FORCE被災状況調査班への助言
（石川県中能登町役場）

TEC-FORCE調査班報告立会い
（石川県穴水町役場）

自治体要望聴取立会い
（石川県穴水町役場）

令和6年能登半島地震　1月1日～2月29日

活動場所		活動内容	人数（人日）
石川県	能登地域	現地調査助言	116
		道路啓開助言	8
		河道閉塞助言	7
	金沢河川国道事務所	調査･工法等助言	4
富山県	神通川	現地調査助言	2
	庄川	復旧工法等助言	3
	北陸技術事務所	電通･機械支援助言	5
新潟県	北陸地方整備局	現地調査等助言	2
	高田河川国道事務所	復旧工法等助言	1
	国道8号（柏崎市内）	復旧工法等助言	4
※今後の精査により数値は変わる可能性あり。		計	152

災害対策用機械派遣ミーティング参加
（北陸技術事務所富山出張所）

庄川における復旧工法助言
（富山河川国道事務所）

ブランド牛の命を繋ぐ道路補修

- 1月14日（日）に大森能登町長より北陸地整リエゾン等に対し、ブランド牛（約1,000頭）へのエサ供給のため、10t車での搬入路確保の依頼があった。
- （一社）富山県建設業協会に対応を依頼し、15日（月）に対応を完了。
- 1月16日（火）の石川県災害対策本部会議において、大森能登町長より「能登牧場については、国・県の道路の応急復旧の実施により、10tトラックによるエサの運搬目処がたった。大変感謝。」と感謝のコメントをいただいた。

被災後

位置図

復旧作業

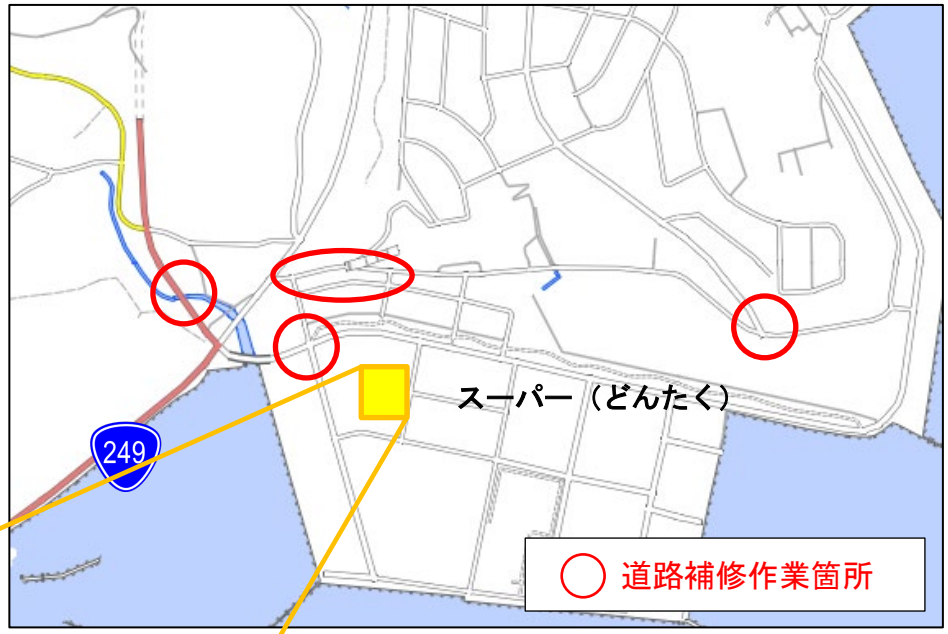
復旧完了

(アグリファンド石川HPより)

スーパーが営業再開!?よし道路補修がんばろう！

・能登町からの要請により富山県建設業協会員の（株）ユアネクスが、段差・亀裂箇所の道路補修を実施。
・道路補修箇所近隣にあるスーパーの営業再開の情報を入手したことから「周辺道路を徹底的に補修し、安全に買い物に行けるよう務めました」と国交省の公式X（旧Twitter）にて作業状況と合わせて投稿したところ多数の御礼コメントや、粋な対応としてネットニュースでも紹介。

位置図



X（旧Twitter）への投稿内容

国土交通省　富山河川国道事務所
@mlit_toyama

【#能登半島地震】
#富山県建設業協会　(株)ユアネクスより

支援に当たっている際、地元の方より「近所のスーパーが明日から営業再開」と聞いたので、周辺道路を徹底的に補修し、安全に買い物に行けるよう務めました

大変な状況なのにもかかわらず地元の方から感謝の言葉たくさんいただきました。

午後4:48 · 2024年2月13日 · 3.7万 件の表示

スーパーマーケット
（ショッピングタウンアルプ内）

出典：株式会社どんたくホームページ

ネットニュース掲載内容（令和6年2月18日掲載）

被災地のほっこり投稿が話題に「スーパーが営業再開!? よし道路補修がんばろう！」国交省が土木業者の「粋な対応」紹介し反響多数

2/18(日) 20:10 配信　27

るまのニュース

能登半島の被災地で復旧工事が進む中

2024年元旦に発生した能登半島地震。道路も広い範囲にわたって寸断され、主要道路をはじめ各所で急ピッチの復旧工事が進められています。

【画像】えっ…！超カッコいい！これが能登半島で話題の「ほっこりエピソード」です

そんななか、国土交通省 富山河川国道事務所が2月13日に公式SNSで投稿したポストが話題になっています。

富山県建設業協会の所属会社も「オール富山」で現場作業を頑張っていますが、今回のポストの内容は、そのなかの「ユアネクス」からの報告です。

これによると、支援作業のあいだ、地元住民からの話で「近所のスーパーが明日から営業再開」という情報をキャッチしたとのこと。それでは「安全に買い物に行けるよう」にするため、周辺道路を徹底的に補修したそうです。

同事務所は「大変な状況なのにもかかわらず地元の方から感謝の言葉たくさんいただきました」としています。

地元と土木業界のほっこりするエピソードに、リプライでは「お疲れ様です。大変でしょうがよろしくお願いいたします」「被災者の方々の生活を考慮し、素早い対応をありがとうございます！日一日と復旧復興が確実に進んでいくのは、皆様のご尽力のおかげですね！」「町域の情報も聴いてすぐに対応してくれる細やかさ♪」「臨機応変な対応すばらしい」「大拡散希望！」などの声があふれていました。

震災から1か月半が経過し、主要道路の復旧も徐々に進んでいます。15日には高規格道路「のと里山海道」の中間部約12kmが輪島方面行き一方通行で復旧を果たし、完全不通区間はいよいよ数キロを残すのみとなっています。

一部復旧した「のと里山海道」（画像：国土交通省）。